大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十二月十日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)二二二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 河本榮忠 編輯人 印刷人 水越內之介

日滿軍警の活動で 匪賊最後のあがき 十一月下旬以降の討匪狀況 關東局警察隊司令部發表

安奉線地區 肅清工作進む

今次の安奉線地區地帶の日滿軍警の討匪肅清工作に各地に蟠居せる匪賊は全くその影をひそめ、昨今にては僅か二、三が一隊となつてゐる群小匪團が出沒し最後のあがきをみせてゐるに過ぎない、關東局警察隊の十一月下旬より十二月上旬にわたる討匪狀況は左の如くである

一、渡邊遊擊隊隷下各隊その後の行動

イ、廿三日來通子峪および同附近に位置し、殘匪の索出に努めつゝある新妻隊は廿六日同地南方三キロ羅圈溝西方高地において長銃七を押收せり

ロ、廿四日大廟溝（南攻東方十五キロ）同附近に位置し分散匪の撲滅に努めつゝある岡野隊は廿六日午前十時頃同地南方三キロ四方岩子同附近山中において匪賊の隱匿せる長銃六を押收す

ハ、廿四日來平頂山附近に位置し匪首五省を索めて討伐中の宮崎特務隊は同地東方八キロ秦家溝嶺附近において長銃十五を押收す

二、王大姑娘匪その後の動靜　王大姑娘、春秋好の合流匪は廿四日寬甸、鳳城縣境において藤島部隊のため致命的大打擊を蒙りつひに集團行動の自由を失ひ、支離滅裂となり同匪中には無條件投降を申出でんとする氣運さへあり、王匪の討滅も近きにありと認めらる、藤島、松尾、鵜木の各隊はこれが殲滅を期し依然靉河左岸地區にありて同匪を索めて討伐中

三、二十八日午後十時頃鳳凰西南八キロ大李家堡子部落に匪首王金芝の一味約十四名潛伏中なるを探知したる國武部隊の鵜木隊は二十九日午前三時前記部落を包圍賊四名を逮捕し拳銃二、實包四十發を鹵獲せり

四、匪首保國の一味約十名大堡東方五キロ大亮子溝に潛在中なるを探知したる松尾隊（國武）は二十九日午前八時同部落を包圍し交戰四十分にして賊三名を斃し、匪首保國以下三名を逮捕しモーゼル拳銃一、同實包廿四發、村田式拳銃一、同實包八發を鹵獲せり

五、大堡東方十二キロ金家溝に匪首中國軍の部下數名潛伏中なるを探知したる松尾隊は特別搜查班と協力廿九日午前五時同部落の檢索を行ひ賊二名を逮捕し長銃一、同實包十八發を鹵獲せり

六、渾水泡および同附近に位置し專ら闖生堂匪の索出に努めつゝある田上部隊は同匪の殘匪十數名同地西方約卅キロ富家屯、莊家屯方面に潛伏中なる情報により二十四日來同地附近の大檢索を實施、通匪者五名を逮捕し容疑者六十三名を引致し徹底的取調を行ひつゝある

七、軍に協力し本溪縣第七、八區の山岳地帶を掃蕩中の渡邊遊擊隊その後の行動左の如し

イ、十二月一日午前六時渡邊部隊主力は草河口東北十三キロ老金廠において匪首占東洋、鹿鳴林の合流匪約卅名と交戰、約一時間にして賊七名を射殺し小銃四、同實包一九、拳銃一、同實包五二を鹵獲したり

ロ、十二月二日午前十一時頃渡邊部隊長の指揮する新妻隊は草河口東北廿五キロ三道林子附近山中において匪首老北風以下卅名と交戰、賊五を射殺し小銃三、同實包一八、拳銃一を鹵獲せり

八、國武遊擊隊その後の行動左の如し

イ、十二月一日午前十時頃王匪の一味と思料せらるゝ約十五名の匪賊が大堡東方十二キロ遠家堡子附近山中に潛伏中なる確報に接し松尾隊は即時該地に出動賊一名を射殺し一名を逮捕し長銃一、實包六十五發、ローヤル拳銃一挺、實包二十七發を鹵獲した

ロ、二日午前三時匪首吳殿臣の一團約三十名は鳳凰城東方八粁何家堡子に潛伏中との確報により鵜木隊は直ちに該地に出動同五時三十分同部落を包圍攻擊し交戰三十分にして賊二名を殪し二名を逮捕し長銃一挺、實包四十五發、拳銃一挺、實包五十二發を鹵獲した

九、田上遊擊隊其後の行動左の如し

イ、十一月卅日午前七時半頃鳳城縣第六區大家溝（龍王廟東北十粁）において闖生堂の部下約十名朝食中との情報により正藍旗堡子に宿營中の杉原隊は直ちに出動これを包圍し交戰約四十分にして賊一名を射殺し一名を逮捕し拳銃一挺、實包二十を鹵獲した

ロ、湯山城駐屯岡部隊は十一月二十七日夕刻匪首不詳の賊約二十名鳳城縣第二區吳家堡子（湯山城北方十八キロ）に宿泊中との確報に接し廿八日午前二時十分湯山城出發、靉河を渡涉し前關家堡子を迂廻し强行軍をもつて午前七時二十分吳家堡子東方一千米の地點に達したり、こゝで敵匪の見張を發見これを追跡して同匪の潛伏場所を突めこれに殲滅的大打擊を與へ寢具衣類品多數を鹵獲し燒却したり

十、鳳凰城署部隊の武器發見　今次討伐隊の活動により群小匪團は銃器を隱匿分散しつゝあるとの情報を得て調查中匪首白俊實の部下が長銃多數を鳳城縣第四區二道洋河附近に隱匿せるを確認し八日午前三時山口警部は部下廿名を率ゐて同附近を搜查したところ支那式長銃十、手榴彈三十、拳銃彈三十を發見した

德王、卓王連名 蔣介石を難詰 義軍の使命を堂々と宣明

【張家口九日發國通】今次綏遠問題における蒙古偶の大立物德王は先般蔣介石氏より出された詰問電に對し察哈爾盟長卓王と連名で五日附左の如く返電しその態度を明かにすると共に表裏常なき蔣介石氏の僞瞞政策を遺憾なく暴露し事態をなるがまゝの發展に任せるにおいては一地方問題よりやがて蒙古民族對國家の重大問題化すべしと嚴重警告した

南京行政院蔣院長鈞鑑　貴電謹んで拜承したが蒙古が蒙古地帶に省縣制度を布くことに反對せるは民國十七年のことにして今次綏遠省と兵火を以て相見ゆるに至りしは該省の蒙古を壓迫すること餘りに甚しきに起因すこれ地方的利害衝突の戰爭となし又は不良地方制度に對する革命といふべきも決して國家を離脫するに非ず況んや蒙漢民族の闘爭等とは斷じて言ひ難し、一切の希望と經過は既に十一月廿七日附電報を以て詳述せるにより繰さゞ返るも蒙古が現在有する軍隊はこれ悉く蒙古人にあらざれば蒙古に同情を寄する漢滿各民族同胞の組織するところにして又その一切の軍用品は購買せるか或は貸借關係において入手せるものにしてこれに依り民族を賣れる事實なく更に領土主權を喪失せる事實もなし、凡そ多少とも蒙古の實情を知る者ならば恐らく蒙古を以て仇敵とはなさゞるべく中央においても若し果して蒙古を信任せばこれに依り何等疑慮するところなかるべき筈なり、況んや近年省と省との爭ひ解けず甚しきに至りては地方の中央に反抗せる事實も一再ならず、しかも中央は常に寬大これに處し政治手段を以て解決せるもの枚擧に遑あらず、今中央にして果して蒙古をことさらに區別する事なくば今次蒙古綏遠の衝突に對しても當然政治的法式を以てこれを解決して不可なかるべき筈なるに何を以て綏遠省當局のみに一方的に聽從して抗敵の命を與へ積年の一大公案たるこの蒙古對該省の問題を一筆に抹殺し去らんと一擧かも蒙古に惡名を冠せし國罵々蒙古の事情に精通する貴院長まで又諒解に苦しむ言辭を以て小官等を難詰するや

顧るに民國成立以來國家は直ちに征服地を以て蒙古を遇し蒙古地帶一切の政治、軍事は皆痛痒ぜざる異邦人之を掌理す、此間たゞたゞ蒙古を搾取るの事實のみあつて文治武備の上に扶掖するところ寸毫もなく今や蒙古は既に貧且つ弱全く自存の途なき窮境にあり近年貴院長の支援により漸く自治の曙光を認むるに至りしも綏遠省側の間斷な破壞工作によりその結果は皆無なりとす、小官等は蒙古人として生を享けこの土地を守る者良心の動くところ各盟旗官民への責任上民族のため蒙古に生存を求めざる能はず、蒙古を危地に陷るゝ者と抗爭せざる能はず、人には皆各々生を求むる心あり察哈爾綏遠は同じく蒙古に屬す我等假令こゝに退くも亦可ならずや、別に起つて民族のために奮闘する者あるべく萬一中央にして最後まで綏遠省の蒙古壓迫を放任し或は兵力を以て該省を援し蒙古を國家に入れしめずば今次の紛糾は遂に蒙古民族と國家間の問題たるべくこれ蒙古の何等豫期せざるところにしてこの際特に中央に向つて注意を促す所以なりとす改めて明確なる表示を待つ

鮮銀、中銀の業務協定改正 來週早々東京で協議

【東京國通】朝鮮銀行と滿洲國中央銀行との業務協定は來る二十二日を以て滿期となるが過般滿洲興業銀行の設立に伴ひ鮮銀の在滿支店は關東州を除き一齊に撤收されるので滿期を期して業務協定の改正を必要とし兩行において夫々改正案を研究中のところ愈よ來週早々大藏省に兩行首腦部間の折衝が行はれることゝなつた、しかして鮮銀當局では既に業務協定中日滿爲替パー維持に關する條項以外は在滿支店の引揚げによりその重要性を喪失してゐるのでこれを全部削除する方針で中銀側においてもこれに異論なく從つて兩行間の折衝も週日を出でずして纏るものとみられる、これに依り日滿爲替協定の骨子である金圓對國幣の等價期間は引續き確保される譯である

御退位の場合も 戴冠式は豫定通り

【東京國通】エドワード八世陛下の御進退と關聯して明春五月の戴冠式は自然延期されるであらうと傳へられてゐるが、九日吉田駐英大使より外務省に達した公電によると御退位の場合でも戴冠式は延期されず豫定通り執り行はせられることに決定した趣である

在滿日本人への工作 協和會の活躍（上） 九・一八軍司令官より重要指示

協和會本年の業績を回顧すれば、第一に在滿日本人に對する工作の進展、七月二十五日を劃期として確立された新しい機構の充實、そして九月十八日關東軍司令官より與へられた重要な指示の闡明等を特記することが出來る。

× ×

協和會の根本綱領の一たる宣德達情の集結機關、世界に類例を見ぬ王道政治會議と稱される全國聯合協議會は七月二十三日から五日間新京記念公會堂に於て開かれたのであつたが同協議會に於て當時の中央事務局次長平島敏夫氏が述べた所はよくその頃の會の實狀を示してゐる、すなはち

會員は增加し分會の自主的活動漸次活潑となり、會員數昨年末三〇、三九三名本年度六月末現在に於て三七一、六二九名、更に本年度に於ては特殊工作として日本人、蒙古人、半島人、白系露人の組織に着手し、今や工作の基礎調査殆んど完了し、特に日系工作は新京、奉天其他に於て着々進行、國內の全民族官民の別なく協和會に入り擧國一致の全國的組織體完成も近きに在り

とそれには述べたのであつた

× ×

協和會の新しい綱領もこの協議會に於て發表された。

「滿洲帝國協和會は唯一永久擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり

一、建國精神を顯揚し
一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し
一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し

以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す」——これが簡明にしかも深く廣い意味を含めて作られた新綱領でありこの新綱領に從つて次のやうな工作方針が決定されたのであつた。

一、精神工作　東方道德の眞義、日滿不可分關係の眞髓を全國民に理解信仰せしめ建國精神を徹底し國民思想を統一す

二、協和工作　國民中に核心的指導力を確立し是に依り民族相互間の軋轢、摩擦を根絕し、各民族をして各其の處を得しめ以て其の福祉を增進し國民的融合を圖る

三、厚生工作　建國の精神理想を經濟生活社會生活の上に實體化せしめ、百業の振興、國民生活の安定向上を圖る

四、宣德達情工作　國民の眞意を洞察して之を上達し、上意を下達して國民をして衷心より國政に悅服せしむ

五、組織工作　全國民を動員し訓練し組織し、官民一致、上下一體の渾然たる國民的組織體を結成す

六、興亞工作　建國精神を擴充して汎く東亞に及ぼし、亞細亞諸民族を覺醒興起せしむ

——この工作方針によつて協和會の進路は明確に力强く規定された。その後に於ける諸般の工作がみなこの線に沿つて遂行されてゐるのを見る。

昭和十一年の回顧

人事往來

（着京）

▲鈴木鷹信氏（大連鐵工所庶務長）九日來京ヤマトホテル
▲林正次氏（會社員）同
▲沖豐治氏（同）同
▲行山義光氏（奉天高等法院）同
▲河內由藏氏（官吏）同
▲本田儀介氏（鑛業）同
▲宇木甫氏（滿鐵）同
▲桝谷秀夫氏（安東領事）同
▲中村太郎氏（四平街輸入組合理事）同 蓬萊ホテル
▲坂本久美氏（太洋洋行支配人）同 大丸新館
▲田丸又四郎氏（海產商）同
▲三村林平氏（建築業）同 富士屋
▲大關鐵夫氏（鐵道總局）同
▲德滿今彥氏（同）同
▲大倉清太郎氏（滿鐵）同
▲田中文雄氏（官吏）同
▲荒砂宇三郎氏（東京相撲協會）同
▲綾瀨川山左衛門氏（大日本體育奨勵協會理事長）同
▲浦田省三氏（會社員）同
▲明石辰生氏（滿鐵）同 國際ホテル
▲瀨尾源藏氏（同）同
▲廣瀨涉氏（官吏）同
▲竹井義太郎氏（吳服商）同
▲上野晃氏（滿鐵）同
▲長孝孝夫氏（土木請負業）同 北海ホテル
▲林國吉氏（會社員）同
▲栗原卯之助氏（同）同
▲江口胤秀氏（滿鐵）同
▲杉本芳藏氏（陶器商）同
▲中村三郎氏（鐵道總局）同 大和新館
▲茂原忠勇氏（同）同
▲原公秀氏（土木建築業）同
▲本鄉信雄氏（官吏）同
▲根本良彌氏（商店員）同 向陽ホテル
▲藤武久男氏（工業大學教授）同
▲和田眞造氏（竹村製材所）同
▲福岡義男氏（丸計運輸）同 太陽ホテル
▲池內和實氏（官吏）同
▲河內志郎氏（三江省公署總務廳長）同 滿蒙旅館
▲三谷清氏（吉林省公署總務廳長）同
▲牧十右衛門氏（官吏）同
▲工藤雄助氏（會社員）同
▲本間貞藏氏（醫師）同
▲鈴木大佐（駐滿海軍參謀長）同歸京

（出發）

▲中野正剛氏（代議士）九日發內地へ
▲趙鵬第氏（民政部次長）同奉天へ
▲藤野良雄氏 九日發ハルビンへ
▲飯塚作治氏 同
▲般若善一氏 同
▲佐伯正芳氏 同鞍山へ
▲柏野厚一氏 同奉天へ
▲藤原源太郎氏 同
▲河田師郎氏 同四平街へ
▲小島劍一氏 同安東へ
▲寶性確成氏 同大連へ

その日〳〵

□ 英帝御退位遊されても戴冠式は豫定通り御擧行の由、英國民の喜びは半減

□ 綏遠軍の敗報、包頭に傳はる、目的が防共、片棒かつぐに何かあらん

□ 酷寒と戰ふ東邊道肅清工作班に凱歌あがり、匪影愈よ淡し、新春と共に展けゆくか

□ 待望の豆タクあすから動く　こんなことなら最少し早く許して欲しかつた

□ 煤煙防止愈よ實質的に動く　有害不經濟が立證された以上法規化が急務

歌はぬ樂譜（上映禁上演）

山中峯太郎　水門讓二畫

（九）　哀別（三）

奥の座敷に、藤岡宏は、俊子の父の村井政吉と、日あたりの好い庭を見ながら快活に話してゐた。

『小父さん！』

宏は、俊子の父を、親しい氣もちで、かう呼びなれてゐた。

『まだ、蜜柑がなつてますね……』

『あゝ、私は、あの黃色いのを見てるのが、いゝ氣もちでね』

政一と小さい時からの親友である宏に、政吉の方も、氣兼はなく、

『とにかく、實がなるさいふものは、おもしろいぢやないか』

『ハヽヽ、實がならないさ、ものは、ふえないでせう』

『さうだ、政一と俊子は、わしの實だからな』

『しかし、取つて食ふわけには行かないでせう』

『いや、世間には、子供を食ふ人間があるよ、宏君』

『ホウ、ゐますか』

『ある、子供を育てゝ置いて、それに食はして貰ふ親などは、實のところ子供を食ふ方だな……』

『そんなのは、僕、御免ですね』

『まあ宏君などは、さういふ心配が、少しもないのだから、これはお父さんに、禮を言つていゝぜ、君は幸福な身分だ……』

『では、精々孝行しますか』

『孝行も無論だが、君は來年卒業してから、家へ歸つてくるかね』

『いや、その點は、僕の自由にしたいさ思ふんですけれど……』

宏は、愛人の父である『小父さん』に、何でも相談してみることを、忘れてはゐなかつた。

『どうも若い者は、東京々々さ言ふね。どういふ方面に、君出て行かうさいふんだな、君の希望は？』

『今のところ、新聞記者なんか、興味があるやうに思つてますが』

『新聞記者、フウム、どうも私には、どんなもんか、わからんな』

『小父さんは、おいやですか記者さいふさ』

『さあ、わるくもあるまいが君はお父さんのあとを、立派に繼がんことには、孝行にならんぢやないか』

政一が、椽から入つて來た。

『たゞいま、ヨウ、藤岡！』

『ヨウ、お歸り』

うなづき合ふと、宏は、政一の袴を見て、

『散歩にも袋をさげて行くんか』

『皮肉を言ふなよ』

大きな瀨戸の火鉢——宏の父の贈り物である。その緣へ座つた政一に、宏は遠慮なくきゝ出した。

『俊子さんは、どうした？』

『ウム、今部屋へ行つてるやうだが……』

石田が、玄關で母に斷られ、あのやうに憤慨して行つた。それが政一をも憤慨させてゐた。

——それほど石田を冷遇しておいて、同時に藤岡さ、このやうに親密にしてゐる。あまりに打算的な兩親のやり方が、政一は氣に入らなかつた。

『お父さん！』

『なにかね』

『今、石田が、玄關から歸つて行つたんですが』

『さうかな、どうして？』

政吉は『石田』さ聞くさ、つめたい顏になつた。

『どうしてツて、お母さんが追び返したさ言ふんです』

政一は、宏の顏いろを横から見た。

『さうか』

さ、政吉も宏の顏を見るさ

『それは、わしが初子に言ひつけておいたのだ。石田……あれは、わしの氣に入らんからな』

宏は、目をかゞやかした。

この煤煙にはもう耐えきれぬ
發電所、滿鐵醫院附近の住民　連名して當局に陳情

〝國都の煙匪を驅逐せよ〟の叫びは新京煤煙防止委員會の結成となりその活動は煤煙防止展覽會となり國都三十萬市民に煤煙の有害にして經濟上莫大なる損害のあることを認識させ實行運動として市内大煙突使用者其他各有力機關代表等を一堂に集め「煤煙防止座談會」を催し煤煙防止に關し忌憚なき意見の交換を行ひ多大の收護があつたが一方側面運動として被害の最も多い鐵北電業公司發電所附近居住者及び滿鐵醫院附近居住者はその被害の甚大なる實情を見て當局に陳情すべく連名調印中と聞くがかくして國都の煤煙防止運動は組織的に着々として進められてゐる

煤煙防止に協和會乘出す
首都各分會に煤防支部設置

九日開催された滿洲國協和會首都本部委員會に煤煙防止委員會の韓委員長、青山、奥田の兩委員が出向き、煤煙防止全般的運動のため協力を懇談したところ、列席の田邊參議外二十數名の委員は直ちに贊成、先づ協和會首都各分會内に支部を來る二十日迄に結成し、煤防運動に努力することゝなつたが、これがやがて全滿的運動の前提となるものと見られる

陣歿將兵に祭祀料御下賜

【東京國通】畏きあたりでは本年三月廿七日以降の將兵陣歿者に對し、祭祀料御下賜の有難き御沙汰があつたので陸軍省副官大槻大尉は九日午後宮内省に出頭、北滿〇〇〇において戰歿せる航空兵中佐中西保頼氏以下百十八名の分を拜受、それぞれ遺族に傳達の手續をとつた

窃盜を自白

先月來羽衣町一丁目西六ノ一田中多作方で引續いて二回盜難にかかつたので新京署では何等か關係あるものではないかと嚴探中のところ八日午後十時三十分新京署員が日本橋通り七二ノ二路上にそれらしい男を發見不審訊問せるに答辯が曖昧なので本署に連行取調べたところ原籍廣島縣芦品郡戸平村現在羽衣町一丁目西六ノ一瀬尾昇一（二十九）と云ひ前記田中方の犯行を自白

喫茶店でもクリスマス券

さきにカフエーでクリスマス食券を賣り出して相當人氣を呼んで居るが、今度喫茶店でも昨年迄は考慮中であつたカフエーとはまた違つた氣分で家庭の延長として家族子供連れ本意の和やかな催しをと新京署に出願中であつたが許可となつたので左の値段で各店クリスマス食券を賣出すことになつた

喫茶パレス二圓、ハリウッド二圓、日本橋茶房二圓、ドリアン大人二圓五十錢、小人一圓五十錢、ナポリ二圓

國際銀公司取調べ進む
契約書を左右に

株式會社國際銀公司の德光好文氏の一切權利讓渡問題に關して新京署高等係では其後引續き當地に於ける唯一人の人物でしかも莫大な被害者と目されて居る王寅恭氏について取調べてゐるが奇怪なる

事實

の續出に同公司副總裁德光好文、監事楠原百十郎、同齋藤留藏、顧問黑龍王等重役連の王寅恭氏に對する行爲に益々疑惑をいだくに至つてゐる、そもそも王寅恭氏を最初に紹介し話しを契約にまで進める折衝役をつとめたのは平田氏であるがその初め王氏もあまり大きい規模に多少の懸念を懷いて居たがそれを知つた德光氏はこの件に關し三井、三菱、住友、天理教本山青島市長鎭陽烈氏等の大有力財閥が盛んに投資方を申し込んで來るが貴下を見込んで話を進めて來たから前記財閥の申出でを拒絶した、一同も貴下の投資を歡迎してをると言葉巧に王氏を絶大信用して居るかのやうにまつり上げ遂に十月六日に讓渡契約をなさしめ二百萬圓の擔保として時價千五百萬圓の地權證書を提出せしめて居るが果して前記財閥が斯樣な申出でをしまた德光一連がそれを事實拒絶して居るかについて多分の疑をいだかれて居る、また突如十二月十六日付内容證明便を以て昭和十年十月六日付德光好文對劉萬及王寅恭間に於ける契約は昭和十一年十一月十六日契約の履行なきを以て該契約は將來に向つて之を破棄解除す從つて王寅恭及劉萬兩氏の國際銀公司副總裁及立會人後藤幸正の相談役並に黑龍王の顧問等の名稱は將來に向つて其の効力無きことを御了知相成度と通告してゐ乍ら十一月二十七日付航空便にて一旦無効を通告した契約の更正も通告の取消しもせずして十月六日の契約履行方を

嚴重

に追及して來てゐる點にも何か多分のカラクリあるものと認め探査を續けて居るが事件は意外に進展する模樣である、契約に當り立會人となり顧問となつて居る住所も明記せぬ不可解な黑龍王なる者を當局では非常に疑問視して居るが王氏に問へば只大變鷹揚な人で顯で人に返事をするし色々の手紙や話しにも閣下と呼ぶので大變偉い人だと思つて居たとのみで眞相をつかみ得ぬが或は先年治安妨害の故をもつて退去を命ぜられた安藤美津之助の別名ではないかとみられて居る

愈よあすから豆タク動く
けふは市中宣傳

新京の豆タクはいよく十日から店開きを始めた、けふはとり敢へず十六台で市中を運行して宣傳につとめ、實際お客相手の商賣はあすから三十台を繰り出すことになつた

毎月十五日を交通訓練デーに
首都警察の新計畫

國都の著しい進展に伴ひ人口の膨脹と内外人の來往は日と共に頻繁を極め各種の文化的交通機關の出現による交通量の激増をみつつある今日、首都警察廳保安科では交通事故防止、交通整理取締等交通警察の徹底强化を期するため今後毎月十五日を交通訓練デーと定め半永久的に各警察署を督勵して左の要領に基き一般市民の交通訓練に乘り出すことゝなつた

△實施時間　午前十時—十二時　午後二時—四時

△出動人員　當日は各署に對して内勤及特種勤務者を除く當非番外勤者を總動員する

△交通整理の强化、交通整理は各署共既定の場所に警察官を配し勤務せしめて居るが當日は既定の配置個所以外の重要な道路に密に配し路車及歩行者の整理に當らしめる

△交通道德の普及宣傳、交通整理と相俟つて諸車及歩行者に對し指定道路又は左側を通行するやう宣傳をなし交通道德の普及に努める

△道路の無許可使用取締、道路無許可使用の嚴重取締、道路障害の除去に努める

△道路の清掃督勵、道路兩側の毎戸に對し道路の清掃を督勵し善良な習慣を養成することに努める

△各種團體員に對する交通訓練の指導教養當日は可及的に少年團員及び防護團員を出動せしめ警察官の交通訓練に對する補助をなさしめるとともに三等團員に對し一般市民の交通訓練實施の方法を指導教養すること

總務廳長懇談會
けふ軍人會館で開催

民政部管下十省總務廳長と中央各部との政務懇談會は十日午前九時より軍人會館會議室において開催、十省側各總務廳長、中央側民政部大津總務司長、大島警務、黄地方、森軍拓政各司長その他各科長、事務官、總務廳より神吉次長、高倉、伊吹兩參事官、文教部皆川總務司長、蒙政部關口總務司長、財政部青木税務司長、毛里國税科長等出席、まづ治安問題より懇談に移つた

建國記念ポスター
一等小山宗祐氏
本社後援　十二日からニツケで展覽會

建國五周年記念ポスターは千餘點の應募があつたがその中より約百五十點を情報處に於いて豫選しこれを審査委員會で嚴選の結果一、二等入選作及び佳作五點計七點の優秀作を決定した、千餘點の中から選ばれたこの入選作はじめ約百點の優秀作品は十二日から十八日までニツケギヤラリーで本社後援のもとに公開展覽會を行ふこととなつたが躍進滿洲國の五周年を多彩で力强い美術を以て象徴するこれらの作品は多大な興趣をもつて國都人士にアツピールするであらう（寫眞いは一等入選作）

入選者

一等　大阪市西淀川區海老江上三丁目四五　小山宗祐

二等　大連市聖德街四丁目七番地　川谷寅雄

佳作　軍事調査部　張靖宇
東京市牛込區宮比町三桑原伸行方　下平修
新京祝町二丁目十四番地ノ七　和田盛一
大阪市住吉區阿倍野筋二ノ十一山アトリエ　山茂雄
大阪市此花區朝日橋區一ノ九　香川清晴

審査委員　藤山一雄氏談

なほ今回のポスター應募作品の審査に當つた審査委員の一人藤山一雄氏は次の如く語つた

前回の募集に比し格段の進歩を見せてゐるのには全委員が驚嘆した、が總じて其イデオロギー及び技巧等千遍一律で建國五周年を象徴するものとしては創造力足らず輕浮な商業用ポスターに墮したものが大半を占めたのは遺憾であつた、又選出に困難を覺えたのは文化の程度の低い滿洲國人大衆向きのものとインテリ層向きのものとにポスターを別にする必要を感じた點であつた、一等入選のものも決して新鮮なアイデアとは言はれないが黎明の空に映じ出された建國五周年記念の文字、鐵塔に徐々に掲揚される國旗等により創造期の國家をよく象徴して居りその文字に打ち込まれた鋼鐵の動き或ひはその單純なる色彩構成による明朗にして且つ崇嚴なる建國創業の大義を描出して居ると言へる、二等の逸作は盛り澤山で賑やかに樂んで描いたやうな作者の態度が面白く且つ大衆向きである點を買ひ主として地方滿洲國に對して建國のイデオロギーを示すのにいゝと考へた

錦ケ丘のお引つ越し

新京錦ケ丘高等女學校は十日午前八時から新校舍へ引越を始め、けふは朝から先生も生徒も荷物の運搬、整理にゴツタ返し午後四時過ぎ漸く一段落を告げた（寫眞は荷物整理を手傳ふ同女學生）

哈爾濱通道街に
運轉手殺し事件發生

【哈爾濱國通】八日午後九時頃哈爾濱國立賽馬場齋藤某が忠靈塔參道附近、通道街一キロの地點にさしかゝるとタクシー一臺が停車してゐるので不思議に思ひ内部をのぞき込むと、露人運轉手が滅多切りにされ紅にそまつて慘殺されてゐるので大いに驚き、直ちに香坊署に屆出た、同署より係官現場に急行檢死の結果被害者は馬家溝國課街二番、流しタクシー運轉手アレクセーフ（四一）と判明した、被害者は頭部その他數ケ所に斬りつけられ、なほその上細縄をもつて無殘に絞殺されてをり、附近にはソフト帽子、ハンチング、双渡り三寸余の出双庖丁、短刀の鞘などが遺留されてをり、日滿警察協力捜査中であるが、九日夕方に至るも逮捕に至つてゐない

哈鐵技師が謎の失踪
酩酊末凍死？

【哈爾濱國通】哈鐵營繕處技師鳥越早雄（四二）氏は去る六日午後四時頃新市街車站街友人宅の宴會に同僚十六名と共に出席、大いに氣勢をあげて同十時半頃ほろ醉機嫌で一同とともに同家を辭したが、四日を經過せる九日に至るも歸宅せぬので本日領警に捜査願を提出した、家庭には夫人よし子さんの外に四名の子供があり父歸る日を待ちわびてゐる同氏は生來酒好きの點よりみて酩酊の末昨今の寒氣で凍死せるか或は惡洋車夫に監禁されてゐるのではないかと領警では全力をあげて捜査中

蒙古實務學院
卒業式擧行

新京特別市惠民路三〇二の私立蒙古實務學院は來る十二日午後二時日滿軍人會館で第一回卒業式を擧行する

日本國民高等學校修學旅行團

日本國民高等學校鮮滿修學旅行團五十三名は十日午前六時十分着列車でハルビンから來京、同七時三十分發列車で公主嶺に向け出發した

日比野司令官上海を出發

【上海十日發國通】駐滿海軍部司令官に榮轉の日比野中將は官民多數の盛んな見送りを受け十日午前九時出帆の青島丸で任地新京に向け赴任の途に上つた

綏遠軍大敗の報

【張家口十日發國通】包頭來電によれば、同地では昨夜來百靈廟附近において綏遠軍大敗の報傳はり避難民は續々黄河沿岸に向ひつゝあり、それに昨今市内外に土匪鼠賊の類横行し人心兢々としてゐるが在留邦人等は無事である

ペローデニス機計畫を延期

【チユニス九日發國通】東京への空の韋駄天第二陣ペローデニス兩氏は愛機アングレーム三號を操縦し八日午後チユニスに飛來したが天候不良のため計畫を斷念九日午前八時三十五分チユニスを出發してパリに引上げた、兩氏は近く改めて壯途につくはずだが出發の期日は未定である

街の日記

豆タク開業　特別市永南路に出來た國產タクシーは十日から開業小型タクシーを運轉同日午後五時賓宴樓で開業披露を行つた

錦ケ丘高女電話　新京錦ケ丘高等女學校では十日新校舍に引越と同時に公衆電話番號は本局（二一二六九六番）に變更した、なほ滿鐵專用内電話は當分の間架設出來ない

三中井の賣出し　三中井では迎春衣裳陳列特賣を始め羽子板とクリスマス用品賣出し、進物用各國煙草其他贈答品の大賣出し中である

鈴木京染吳服店　梅ケ枝町の鈴木京染吳服店では月末まで歲末大賣出しを行ふ、大見切品、新着品陳列會などを催してゐる

サクライヤ玩具　東一條通りのサクライヤへはクリスマス、お正月用のオモチヤが澤山入荷した、羽子板や柳つり、飾弓などもある、目下大賣出し中である

六合タクシー　交通部眞裏に十日から開業した六合タクシーといふのがある、電話は二の三九五九番

木村コーヒー店　祝町三ノ七に木村コーヒー店出張所が出來た、半ポンド以上は配達する、電話三ノ四二七八

柴田特許事務所　青陽ビル二階に柴田特許會計事務所といふのが出來た、所主は辨理士、計理士、經濟學士柴田時之助氏、取扱事項は別項廣告欄にある通り

觀華會素謠會　觀華會新京支部の第五回素謠會は十二日（土曜）午後五時から太陽ホテルで開催される番組は嵐山、松風、百萬、相崎、洗小町、俊成忠度、草紙船辨慶、猩々等である

あす（十一日）

▲保健展第一日、關東局保健所
▲金振宇氏南畫展、公會堂
▲協和會排共國民大會打合せ會、午後二時、首都本部

※…今晩の主なる演藝放送…※
▲七・〇〇喜劇「山の兄弟」（東京）曾我廼家五郎外▲八・〇三合唱「不盡山を見て外二曲」（東京）▲九・〇〇義太夫「伽羅先代萩」（大連）大掾松助外

天氣と氣温

明日の天氣　西の風晴
日の出　前七時三分
日の入　後四時　分
月の出　前四時二六分
月の入　後一時五六分
けふの氣温　最高零下二度七　最低零下三度九

映畫界下半期展望

（4）「笑の王國」と帝都への影響

八月は暑熱最中の興行的には條件の良くない月であつたが豐樂新京キネマのプロには引き續いて精彩あり、初旬には「眞夜中の處女」「奇傑パンチョ」等メトロの作品も掲り、下旬には佛CFC「第2情報部」RKO「二つの顏」など異色ある作品が登場、前者は新人ピエール・ビヨンのスピーデイな演出とヴエラ・コレーヌ、ジヤニンヌ・クリスパン、ジヤン・ミユラーの好演が印象に殘り、最近の佛蘭西映畫界に於る著しい動向となつてゐる娯樂本位の作品を代表する一作であつた事、後者は目新しいギヤング映畫として愉しまれ、何れも此の月の記憶すべき作品であると共に、前者は千惠プロの「刺青奇偶」と組んで興行的にもヒツトした「刺靑奇偶」は無聲ものゝ折角のトオキイ化ではあつたが遂に無聲ものゝ感銘を再現し得ず、これは結局伊丹萬作と衣笠十三四の作家的素質の差であらう、他に日活「お茶づけ侍」「はだかの合唱」は極樂コムビを賣ものにした下劣極まる茶番喜劇、同じく「昇給酒合戰」の漫才化的傾向と共に、この惡趣味は鼻持ちのならないものであつた、「慈悲心鳥」における企劃の思ひ上つた心臟の强さ、「銀之亟異變」（前篇）の解說版、「弦月浮寐鳥」洋畫ではRKO「ジヤングルの王」「世界の屋根を行く」二本の記錄映畫、アルベール・プレジヤンの「不景氣さよなら」等概して此の月は兩館とも順調な揚りを示したやうである

◇……◇

長春座は初旬清水宏が松竹現代劇一千本記念映畫として發表した「自由の天地」を齋藤寅次郞の「幽靈が死んだら」「マンバ」と組んで好調を見せ、引き續き野村浩將の「素晴らしき空想」を「お化け花嫁」パラマウント「學生怪死事件」と組んでこれも大いにかぶり、次いで「双鏡」は「フランダースの犬」「幻の十手」と組み、下旬にはRKO「世界大戰を語る」は珍らしやベルグナーの「夢見る唇」と組んでこの週は他に一本「旅鴉親子連れ」を加へて洋畫全プロ、月末の長二郞もの「踊る名君」は野村浩將の新婚もの「入婿合戰」パラマウント「よたもん稼業」と合せてこれは完全に松竹の持つマークの決定的な威力を發揮した尙「素晴らしき空想」には一般ファンより「一萬圓當つたら」の課題の下に懸賞募集が試みられこれが大いに宣傳の上に利いてゐたこと、「世界大戰を語る」は湯淺氏の言ふ映畫敎育の手頃な敎題となつて廣く學生あたりにも公開されたことが特筆され、質的には古物乍ら「夢見る唇」の人妻の悶々たる戀情を表現してのけたベルグナーの官能的演技を採り上げる以外に何ものをも見出せなかつたのは聊か寂しいものがあつた、清水の「自由の天地」は尨大な素材をとらへて徹底し切れず、井上金太郞の「踊る名君」も又破綻の多い作品であつた、「狂へる名君」の成功にはこのやうな御都合主義はなかつた筈だが……。

◇……◇

帝都のこの月は映畫興行の他に大阪彌生座專屬の「ピエルボーイズ笑ひの王國」と「明大マンドリン演奏會」があり合せて五日間の日數を削いてゐる譯である、こゝでは唯之らの興行（といつては後者には語弊があるが）が二つとも餘り香しい成績を示さなかつたこと、そして「笑ひの王國」が始めて新京にファースの片鱗らしいものを紹介したといふことを述べておくに止めやう、然し一方映畫興行が、これら番外的存在に災ひされて、月末新興の大作「大地の愛」がパラマウント「航空十三時間」と併映して登場するまで、とんと調子の外れた儘本軌道に乘つて來ず、「嚴窟王」を組んだ再映プロは全く客足を散らして了つた作品としてはメトロ「逆間諜」におけるマーナ・ロイの好演技、これは恐らくこの人の演技の眞價を知る上において他の總ゆる出演映畫に增して適切なものであつた、佛CFC「榮光の道」はマルセル・レルビエの「戰ひの前夜」に先んじて作られた作品であるが出來榮は後者に及ばず心理的描寫とメロドラマチツク描寫を對立せしめたことによつて演出力を二分し、結局中途半端な作品に墮してゐたやうである、「ベンガル」に相似た物語りを持ち乍ら佛蘭西ものといふマークの高級さ（？）の故か業績も振つたものではなかつた、他に新興「寂光愛」「女人祭」「悲戀嵐の道」「忍術大阪城」寬プロ「破れ合羽」があり何れも凡作、「大地の愛」前後の如きは恐るべきフキルムの浪費としか思はれず洋畫ではメトロ「曉の暴風」のケイ・フランシス、同「血と惡魔」パラマウント「航空十三時間」の新規な空中メロドラマ的興味など。

「草原バルガ」 S・Y系で封切

先きにファンク博士に激賞され、全歐洲に紹介されることに決定した「秘境熱河」に次いで、滿鐵弘報部が製作發表した「草原バルガ」は、十二月八日から、S・Y帝劇、武藏野館で封切られる事になつた。これは、問題の滿蒙國境附近の草原に、大古そのもの遊牧生活を送る土民の姿荒凉たる沙漠の風景をキヤメラに收めた藝術的記錄映畫で今週の東日映畫コンクールに特別出品され、賞讃された逸品である

▽あさぎり峠△　松竹京都、林和の原作により伊藤大輔が脚色監督に當る作品で好太郞、敏子のコンビものである他に澤井三郞、新妻四郞、關操、白妙公子、北原露子、坪井哲等が出演、サイレント時代の「鼠小僧旅枕」のトオキー化で胡麻の蠅に雜澁してゐる駈落ちものゝ男女を救つてやる次郞吉の義俠と、實親の父親と對面しながらお尋ねものの故に名乘ることの出來なかつた切ない心情の交錯を描く、キヤメラは三木稔の擔任、長春座十一日封切、寫眞はその一場面

仙人掌

案外腹の强い仙人掌子ではあつたがダンスにかけてはサッパリ自信がない、一日、醉つた元氣で厚釜しくも新京會館探險と洒落れてみた▼やがて醉ふがまゝに、踊るがまゝに語るがまゝに、亂れたステツプは到々ラスト迄續いた、すつかり有頂點になつた、歸途馬車の中で心良い昂奮を冷え〴〵とした深夜の空氣になぶられ乍ら『君あのルル子なるダンサーは素晴らしいね、僕は神樣に感謝する、今晩は實に運命的な會合であつた、それに第一踊りもうまい』と云つたものだ▼すると傍のA君〃大丈夫かい君あれは十年以上もダンサー稼業をしてゐるんだぜ、あの女次外に君のインチキステツプに合はせ得るものは先づないね、初物食でね、最初の男には誰にだつて興味を感ずるんだ、歲はもうそうだなあ、三十を一つか二つ……〃▼あゝそうか後は云ふな、解つたよ、今晩は又なんでこんなに寒いんだらう、ハツクシヨシ

錦音

長春座　帝都キネマの再映プロとも順調な入りを見せる▼長春座次週は愈よ「人妻椿後篇」と「あさぎり峠」これにキヤグニーの「無限の靑空」を配す、こゝは之を以つて本年度最終の一番線全プロとなり以下評判の再映ものが登場する▼帝都は新興甦生の第一作「沓掛時次郞」にユナイト「ロビンソンクルーソー」メトロ「諾？否？」の三本、更に續いて「ジヤンダーク」が年内に登場する▼代田氏も遂にハルビンのキヤピトルから手を引いたと言はれる、折角の滿洲縱斷チエーンの野望も挫折の形だが、かうなれば專心帝都を盛り立てゝ行かねばなるまい

十二月十一日　舊十月二十八日
金曜　丁卯　先勝　平　亢宿

- 一白の人　物事大抵は成就すべし但し飮食に注意あれ　未と幸と丑が吉
- 二黑の人　緊張を欠けば意外の邊より崩落する事あり　乙と丁と戌が吉
- 三碧の人　心の散亂を防ぎ勉めて止まざれば大吉なり　丙と丁と壬が吉
- 四綠の人　何事にも兎角不利を招かんとする薄命の日　丁と辛と壬が吉
- 五黃の人　勇氣內に籠れば物事向上する端緒を開く日　乙と丙と戌が吉
- 六白の人　手馴れぬ事に失策あり本分を堅く守るべし　甲と申と亥が吉
- 七赤の人　失敗の根を下ろす日定業に出精するが安全　乙と丙と戌が吉
- 八白の人　運氣充分ならざれども勵めば效の現はる日　甲と辛と壬が吉
- 九紫の人　物に倦かず根氣を失はざれば發達する吉日　丙と丁と戌が吉

滿鐵撫順液化工場 來春から企業化

―第一期年產七千キロトン―

滿鐵の石炭液化は撫順に工場建設事務所を設け着々操業の準備を進めてゐるがこの程所要機械裝置その他凡そ一千萬圓に上るものの發注を了し來春四月には豫定通り操業に入る見込み確實となつた、現プラントは高壓高溫下に水素を添加する方法であるがカタライザーについて獨特のものを採用する點に特異點がある、而してこれに背後的援助を與へてゐる滿鐵中央試驗所では阿部燃料科長を始め總動員で一段の調査研究に傾注しつゝあり同所工場內に更に國產及び獨逸製プラント二基を加へ舊裝置一基計三基で比較試驗を行ひ萬全を期することとなつた、撫順液化工場の第一期企業化は來春から操業されるが送炭量は毎時一瓲半乃至二瓲の裝置で一日約四十二キロトンの處理量能力といはれる液化量はその二分の一であるが水素の發生その他に要する石炭も採算に加へるときは全石炭量の四分の一乃至五分の一がその得量となる、これらの確實な數字は操業後の成績に俟つ外はないが第一期油化量は年額七千キロトン前後である

哈爾濱市の明年工事豫算

哈爾濱市公署明年度豫算は三日主計科の査定案として決裁を絡り幾分の修正はされても大體この原案の儘市委員會を通過するものと見られてゐるが、その中工事關係は次の如くである

都市計畫事業費	二、四七八、〇〇〇圓
水道事業費	七三三、〇〇〇圓
合計	三、二一一、〇〇〇圓

即ち本年度の三百三十萬圓と殆んど差異なく從つて請負工事として入札に附さるゝものは二百萬圓程度である、猶水道事業費を都市計畫事業から別離したのは明春より水道事業の獨立性による水道局新設による爲である

滿洲各鑛區の名稱改正さる

―實業部十日付布告で―

實業部では鑛業地籍のうち左の鑛區の名稱を改正することゝなり、實業部佈告第十一號をもつて十日付を以て佈告を發した

▲區名の改正（括孤內は舊區名）鐵驪（鐵山包）依蘭（三姓）牡丹江（寧古塔）延吉（白頭山）輯安（懷仁）洮安（伯都納）遼源（奉化）安東（遼陽）王爺廟（突泉）阜新（黑山）豐寧（宣化）

▲號名の改正（括孤內は舊區名）洮安區（一七號）東屛（公合勒）（一八號）鎭東（鎭東縣）（二四號）洮南北部（洮南）（二五號）洮南南部（前叉他拉）遼源（一九號）茂林（七井子）安東（一六號）蘇家屯（沙河堡）

對英米爲替 もどり足顯著

【東京國通】九日の爲替市場は海外において正金銀行が圓價回復の操作を行つたためか米日爲替は廿八弗六十仙と十三仙方暴騰し、日英爲替も六十四分の三片高くなつたので對米對英はともにもどりあし顯著となり對米は本月もの廿八弗半賣り八分の五買ひ、一月物十六分の七賣り十六分の九買ひと前日引値に比し大體半ポイント高となり一部には十六分の九と正金レートを上廻り唱へすら出るに至つた、對英も期近ものは一志一片卅二分の卅一賣り一志二片買ひ三月もので十六分の十五賣り卅二分の卅一買ひと一般の唱へは前日引けに比して大して變らなかつたが、警戒は强含みで外人筋は當日ものならば一志二片と全く正金並みのレートを出してゐた、しかし午後は休みのため商內は概して見送られてゐた

淸津に日鐵進出し 製鐵工場計畫

銑鐵七十萬キロトン一貫作業へ

日鐵の淸津製鐵工場建設具體案は大體內定を見た、即ち工場規模は銑鐵七十萬キロトンとし七百キロトン熔鑛爐三基を建設する、銑鐵のみの工程にとどめる時は熔鑛爐瓦斯、骸炭爐瓦斯を完全に利用することが不可能となり生產費を昂騰せしめるので原則として一貫作業工場とする、熔鑛爐三基の內一基は鑄物用銑專用年產約二十四萬キロトンとし他の二基は約四十六萬キロトン製鋼壓延設備を行ふといふのである、なほ最初日鐵が淸津工場案に對じて反對的態度を取つた理由は要するに採算上の問題で、需要の極頂を標準にする一方反落期をも豫想して事業計畫を立てる必要があること、淸津は地理的關係に於いて不利益であるとともに工場を遠隔の地に分散せしむると熔鑛爐の休止を必要とする場合非常に不利益であること等であつた、勿論原料關係、就中石炭關係を不安視してゐたが事業採算は北海道、阪神等に比し稍不利であることは否定出來ない、なほ淸津工場を日鐵が建設する場合、茂山、古茂山間の鐵道は朝鮮總督府の手によつて敷設するが港灣設備は日鐵自身でやることになつてゐる

錦ケ丘高女 增築工事豫定

永い間借生活をしてゐた錦ケ丘高等女學校は敷島女學校にお別れして富錦路に新築された校舍に移轉する事になつた同工事は三十一萬圓で淸水組の手により六月より着工して約半歳振りに出來上つたもので內部の各室內の體裁は又格別でいやみのない近代式設計にして此れより次々と建物の建設計畫が進められて居り近年の內には總工費六十萬圓を以て全く完成される筈であるが完成の上は全滿的に有名な女學校舍が出來るであらう

滿洲興業銀行 本社屋新築か

愈よ創立となつた滿洲興業銀行は適當地に本社屋新築計畫が進められてゐる模樣で一切嚴秘に附せられてゐるが明春早々までには具體案の決定をみるらしく東京丸の內山下建築事務所に於て設計せらるべく內定入札は明春解氷を待つて行はれる見込である

滿洲經濟界の回顧（８）

產業開發の新五ケ年計畫

滿洲國の資源開發並びに生產增大を目標として

一、重工業
二、農畜、林業
三、交通、治水、土木

以上の三重要部門を根幹として、これに關聯するあらゆる事業を一齊に振興せしめんとする產業開發五ケ年計畫は滿洲國の第二の建國とも言はれ得る尨大な計畫である。これに要する資金は總額十五億圓と豫定されてゐる

×　×

從來やゝもすれば農畜產方面は政府と滿鐵の二元的指導であつた。今後はこの基本計畫のもとに統制され原則として滿洲國政府がその指導權を持つことになるであらう。

農業增產計畫では大豆、小麥、米に主力を注ぎ大豆は現在の四百萬噸から五百萬噸、小麥は百萬噸から百五十萬噸を目標とし、これは品種の改良により二割、害蟲驅除に依り二割、農耕の改良により二割の增產を可能と見てゐる。

同時に技術方面の改良のため先づ明年度は克山、哈爾濱、佳木斯、錦縣に國立農事試驗場の內容充實に努め將來北滿中心に全滿十ケ所に國立農事試驗場を設け或ひは奬勵補助金を下附し北滿未開墾地の開墾と相俟つて農產物の增收計畫を立てた。

×　×

滿洲炭礦會社の現在資本金千六百萬圓を八千萬圓とし出炭量を一擧一千萬噸に增產しその結果內地向け輸出は現在の二百萬噸から七百萬噸に增加しやうとするもので、曾て撫順炭の輸入制限問題で內地業者との間に紛爭を生じた例もあり、日滿石炭統制の上から多大の注目が拂はれてゐる

×　×

國道建設は第一期は本年六月までに六、八九三キロを完成したが更に一億圓をもつて六萬キロの國道を前期三萬四千キロ、後期二萬六千キロに分つて建設し農山村民を裨益し地方開發に資する。

×　×

治水總工費一億圓をもつて遼河水系の大改修を行ふため奉天、營口を結ぶ大運河の開鑿をなし、又松花江の根本的治水並びに支流の改修をなし更に大凌河沿岸の崩壞防止をなし通航の便を圖る。

×　×

これに呼應して交通部の私鐵建設五ケ年計畫一千キロを立案して地方開發線として呼びかけてゐるのがあり、鐵道總局では明年度豫算に財政五ケ年計畫を樹立し國線財政の健全化を計り、又十二年度を以て竣工する第三次新線建設に引き續き十三年度より五ケ年に亙つて二億圓見當の第四次計畫を企圖し、農村開發五ケ年計畫を立て愛護村を通じてこの實現を期することとなつた。これは農村の組合化に根本を置き組合を通じて農產物の共同販賣、機械化農業に對する高級農具の共同購買、土地の共同耕作等による振興策に乘出すといふのである。

×　×

まさに計畫オン・パレードの今年ではあつた。われわれはそれらが漸次具體化されてゆくであらう今後に期待してこのプラン・メイキングに忙しかつたこの年を送らう。

土建ニュース

決定工事

▲錦州省公署新設電氣工事 示談決定 一萬八千五百圓 滿洲電機

●營繕需品局

入札結果 再入札

一九、五〇〇、〇〇	滿洲電機
一九、八〇〇、〇〇	山上電氣
二一、〇〇〇、〇〇	三和電氣
二一、二〇〇、〇〇	滿洲電氣
二一、九八〇、〇〇	大阪電氣
第一回入札	
二三、五〇〇、〇〇	滿洲電機
二三、九六〇、〇〇	三和電氣
二四、一〇〇、〇〇	山上電氣
二四、一〇〇、〇〇	滿洲電氣
二四、八〇〇、〇〇	大阪電氣

●奉天地方事務所

▲江ノ島町四春江ビル方給水工事 特命 千三百六十八圓三十錢 奉天水道工務所
▲琴平町八長井淸一郎方給水工事 特命 百五十五圓九十九錢 同
▲紅梅町五二日本ペイント會社方給水工事 特命 百七十八圓八十七錢 右同
▲彌生町金子鐵男方給水工事 特命 三百九十六圓十八錢 右同
▲浪速通一〇峯八十一方給水工事 特命 六百六十六圓三十八錢 右同
▲信濃町九遠山大八郎方給水工事 特命 四百三圓五十九錢 右同
▲江ノ島町五西村兵三郎方給水工事 特命 四百二十四圓三十五錢 右同
▲奉天青葉町五七國際運輸會社方給水工事 特命 四百四十九圓四十八錢 右同
▲奉天桔梗町五滿洲土地建物會社下水連絡其他工事 特命 二百九十一圓二錢 奉天水道工務所
▲白菊三八一外七七戶疊表替工事 特命 四百二十七圓五十錢 右同
▲荻町二五二外七九戶疊表替工事 特命 四百四十二圓三十二錢 桂代五郎
▲渾河社宅一•一外六一號疊修繕工事 特命 四百九十五圓九十一錢 竹下商會
▲紅葉町二〇•一號外一五號疊表替工事 特命 四百四十三圓八十四錢 丸山疊店 門闕直太郎

●皇姑屯工務段

▲安東外二ケ所自動車營業所ガソリンスタンド据付工事 落札 千百八十五圓 復興公司

●皇姑屯電氣段

第一回目 一七、五四〇、〇〇 右同

▲皇姑屯工廠貨車職場開閉器動力設備工事 落札 四百二十七圓十錢 共榮商會
一五六〇、〇〇 東方電氣
八三五、〇〇 信安組
一、二六四、七〇 山上電機

●哈爾濱鐵路局

▲北安代用局宅道路築造工事 落札 七千九百二十圓 草場組
八、三五五、〇〇 吉川組
八、五〇〇、〇〇 坂本組

▲北安獨身局宅炊事場增築工事 一〇、五〇〇、〇〇 福昌公司
▲北安站專用線增設其他工事 特命 三千圓 西本組 特命 二千百三圓四十錢 福昌公司

東邊道に優秀な大鐵山と石炭山のあることが發見された、これを開發して大規模の製鐵事業を起すといふ▲東邊道と北鮮とを一まとめにして重工業地帶を建設する計畫のあるところへこの大鐵山と石炭山の發見は渡りに舟とでも言はれ得やう▲大體同地方には動力として鴨綠江本支流の莫大な電源があり既に朝鮮側に於いて着々と開發されて居り、滿洲國側でもこの電源開發計畫が進んでゐる、この全水力が巧みに能率的に開發された曉に於いてはたゞに重工業のみならず製鐵事業等に關聯して化學工業の勃興も必至と見ねばならぬ▲雪と氷に鎖されてゐた大森林長白山脈と鴨綠江を中心に工業文化が咲き誇る日が待たれることになつた

商況欄

（十二月十日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	二一片一六分一
同先限	二一片二六分一
紐育銀塊	四五仙〇〇〇
孟買銀塊	五二留比八分一
米英爲替	四弗九仙八分三
米日爲替	二八弗五六仙
米支爲替	二九弗八〇仙
スチール株	七五弗八分三
アナコンダ株	四九弗〇〇〇
英日爲替	一志二片[illegible]
英支爲替	一志二片[illegible]
日印爲替	七七留比四分一

▲米棉

現物	一二仙八四
十二月限	一二仙四九
一月限	一二仙二八
三月限	一二仙二四
五月限	一二仙〇八
七月限	一一仙九二
十月限	一一仙四四

▲印棉

ブローチ	二三〇留比
オームラ	二〇〇留比
ベンゴール	一六一留比

▲市俄古小麥

十二月限	一弗二八仙〇〇〇
五月限	一弗二四仙四分一
七月限	一弗一〇仙〇〇〇

▲カルカッタ麻袋

當月	二三留比八分七
先物	二〇留比四分三

金銀市況

上海標金 本寄 二三五、二
步 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向 第一回 賣	一〇四、二〇
買	一〇四、五〇
第二回 賣	[illegible]
買	[illegible]

▲大連爲替

▲倫敦向 第一回 賣	一志二片三二分一七
買	一志二片一六分九
第二回 賣	[illegible]
買	[illegible]
▲紐育向 第一回 賣	二九弗四分三
買	二九弗一六分三
第二回 賣	[illegible]
買	[illegible]
▲上海向	一〇四、二五

各地株式市況

▲阪神日米爲替 第一回 二八弗三二分七（[illegible]）
▲阪神日英爲替 第一回 一志二片一六分三（[illegible]）

▲東京株式（短期） 寄付・高値

銘柄	寄付	高値
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵	—	—
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期） 寄・引

銘柄	寄	引
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期） 寄・引

銘柄	寄	引
五品	[illegible]	[illegible]
取新	[illegible]	[illegible]
證新	[illegible]	[illegible]
東沙	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]

▲奉天株式（短期） 寄・引

銘柄	寄	引
東株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
取新	[illegible]	—
證新	[illegible]	—
滿毛	[illegible]	—
優先	[illegible]	—
滿鐵	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
電甲	[illegible]	—
同乙	[illegible]	—
東拓	[illegible]	—
滿興	[illegible]	—
日畜	[illegible]	—
東証	[illegible]	—

各地商品市況

▲大阪棉糸 寄付・大引

限月	寄付	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

大連大豆 寄付・大引

限月	寄付	大引
袋入 十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
三等現物	[illegible]	[illegible]

同豆粕 / 同豆油 / 現物・十二月限・一月限・二月限・三月限 [illegible]

新京取引所市況

（十二月十日前場）（一石値段）

	寄引	出來高
現物 大豆	—	—
高粱	—	—
小豆	—	—
玉蜀黍	—	—
大豆 十二月限	[illegible]	[illegible]車
一月限	[illegible]	[illegible]車
高粱 十二月限	—	—
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	二車

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水鑓内之介

外務省重ねて重大聲明

我が公正なる要求に 國府飽迄不遜の態度

在邦生命、權益を侵害せば 臨機の措置に出ん

〔東京國通〕外務當局は十二月十日正午、南京交渉につき左の如く聲明した成都その他今次排日不祥事件に關し日支交渉の經緯については十二月三日在支大使館において聲明するところあつたが、こゝに今次交渉に當り帝國政府のとり來つた方針ならびに右交渉に對する政府の見解などを明白にしたいのである

排日の根源を絶て！

一、八月廿四日成都に發生した邦人記者虐殺事件は多年南京政府においてとり來つた排日教育および排日政策の當然の歸結といふも過言でなく、右は今次事件發生の經緯ならびに事件の內容を知悉せるものゝ悉く首肯するものである、從つてこの源を淸むるに非らざれば只一片の睦隣令をもつてよく同種事件の再發を防止し得ざることは成都事件と踵を接して九月三日北海事件更に二十三日上海事件等が連續發生した事實に徵するも明かである、よつて帝國政府においては、これ等排日不祥事件に關する交渉に當つては通常の支那における殺人、殺害事件として取扱ひ單に事件自體の解決を圖ることのみをもつて滿足せず、更に進んで南京政府をしてこれ等不祥事件の再發を防止せしむるため將來の保障として今回根本的對策を講ぜしめることが肝要であると思考し、これがためまづ事件發生の根本原因たる排日策動の取締りに關して南京政府が誠意實行に當ることを要求する一方、防共問題および北支問題等兩國々交の調整に直接關係ある問題のほか航空聯絡、顧問の招聘、不逞鮮人取締、關税の引下げ等日支間多年の懸案事項を解決し、よつてもつて消極的なる排日取締りより一步を進めて排日策動の原因たる南京政府の對日態度を是正すると共に日支國交改善の誠意を具體的問題につき表示することを慫慂し來つた次第である

綏東問題を口實に 交渉の遷延計る

二、右の如き帝國政府の方針に基き九月八日須磨總領事と張外交部長との豫備的會談が開始されて以來川越大使と張外交部長との間に八回、須磨總領事、張部長或は高亞洲司長との間に廿數回の折衝が重ねられた結果槪略左記がわが方の提案に對する南京側の意向であることが判明し、交渉の將來に對し大體の見透しをつけ得るに至つたものである、すなはち排日取締り問題に關しては國民政府において自發的に一切の排日を根絶し、且つ當分其他如何なる國體たるを問はずその一切の排日的策動につき國民政府において責任を負ふとゝもに、排日取締り命令の徹底、排日教科書の改訂、排日言論の取締り等につき進んで必要の措置をとるべき旨を言明し、また國交の調整問題中、防共問題に關しては全般的にはついに話合ひが成立するに至らなかつたが、ある部分に關しては意見の一致を見た點がある、また北支の問題に關しても日支協力して取敢へず經濟の開發を圖るべき原則につき話合ひが纒つた、その他の懸案事項に關しては日支間航空連絡問題につき多少の問題があつたのを除けば顧問の聘傭、不逞半島人の取締、關税の引下げ等についてすでに意見の一致を見たるのみならず事件自體の解決に關しても、南京政府は大體わが方の要望を入れ成都總領事館も近く再開を見るべき形勢となつた、その後南京政府においては、時たまたま綏東問題の起つたのを口實とし、同問題の解決せざる限り南京交渉を成立せしめる事困難である旨を申出で、既往の話合をも否認せんとするが如き態度を示し、川越大使の屢次の申入れに對しても張部長は殊更に會見を忌避せんとする如き有樣であつたから同大使においては南京交渉と關係のない事件のためにこの上交渉を紛糾せしめることは事態を遷延せしむるに過ぎずとし、大使が十二月三日張部長に面會の際同日までに双方意見の一致をみたる點を覺書に認め、これを手交すると共に支那側がみぎ話合ひの結果を速かに實行に移さんことを要求した

三、交渉の現狀は槪略右の通りであるから帝國政府としては右申入れに對する南京政府の措置特に排日取締りにみるべきものなく、萬一在支居留民の生命財產の安全を脅し或は帝國の在支權益を侵害する如き事態が發生する場合には支那現下の情勢に鑑み臨機必要なる措置をとる方針である

日支の意見全く一致 青島問題、第二次折衝行る

【青島十日發國通】青島の事態收拾に關するわが西總領事と沈鴻烈市長の折衝はこれを成文とする點と市長が正式陳謝をするの二點で行惱んでゐたが、九日正午から夜にかけてなされた門脇領事と鈕參事との第二次會見で交渉の結果兩者間に意見一致し市長はこの際いたづらに面目問題に拘泥せず、日本の友好的態度に信頼して全面的に日本の要求を容れ、日支双方協力して速かに事態の收拾をはかること、日本側においては、速かに紡績の操業を開始するといふ根本的諒解が成立した

ソ聯、依然强がり 漁約調印拒否

リ委員長、反共協定を曲解

【モスクワ九日發國通】駐ソ重光大使はいよいよ十日リトヴィノッフ外務人民委員長を訪問まづ漁業條約調印促進方につき交渉をはじめることゝなつたが、ソ聯政府當局は反共協定が自國を目標としてゐると曲解し、同協定によつて釀成された險惡な雰圍氣が一掃されるまで調印を拒否すると稱して依然强がりを止めず重光大使との交渉を控へて九日次の如く言明した

重光大使は漁業條約の調印につき交渉する意向と言ふが協定文書については日ソ兩國の意見が完全に一致してゐるから交渉の問題ではない、反共協定に由來する險惡な雰圍氣がはれ上るまではソ聯政府は漁業條約に調印する用意なく現在以上話合ひを進める意圖はない

"吾等玆に斃るとも 後裔必ず起たん" 德王固き決意を表示

內蒙古盟旗の盟主德王および卓王が支那軍閥政權の實權者蔣介石に與へた難詰電報を讀むと、それが極めて條理を盡したものであることが判るとゝもに民國十七年以來支那軍閥が原住民たる蒙古人の意思と利益を全く無視せる省縣制度を綏遠、察哈爾の蒙古地帶に敷き、蒙古人の利益と幸福を苛斂誅求あくなき支那軍閥の搾取と犧牲下に立たしめんとし、爾來九ヶ年間にわたり綏遠軍閥の蒙古壓迫は年とゝもにいよいよ激烈となり最近に至りては赤化勢力を誘ひ入れて蒙古人壓迫に拍車をかけんとし、これがため蒙古自治の曙は綏遠軍閥の間斷なき破壞工作によつて蹂躪され、このまゝの狀態―即ち綏遠軍閥の蒙古壓迫の現狀を踏襲するにおいては蒙古人に與へられた蒙古自治權は何等成果を期待し得ぬことを自覺し蹶起を促されたことが今度の內蒙義軍蹶起の由因であることが明かにされた、すなはち內蒙義軍の蹶起は民族生存權の要請にほかならず、多年にわたる綏遠軍閥の壓迫と最近における綏遠軍閥の蒙古人壓迫の一手段たる赤化勢力の侵略の重壓を跳ね除けんために叫ばれた蒙古民族更生の行進曲である今回の蹶起について德王達が如何に眞摯にして必死的堅い決心を抱いてゐるかは該難詰電報において「われ等は蒙古を危地に陷るるものと抗爭せざる能はず」と前提しわれ等たとへこゝに退くもまた必ずや別に起つて蒙古民族のために奮鬪するもの陸續として出現すべく、萬一南京にして最後まで綏遠軍閥の蒙古壓迫と赤化勢力の誘ひ入れを放任し或は兵力をもつて該軍閥を援助し蒙古を蔑視するにおいては今次の紛糾はつひに蒙古民族と南京政權との問題たるべしとの重大警告を與へ、南京側の明確な回答を求めたについてもこれを窺ふことが出來る

國境架橋に關する 日滿覺書調印式

きのふ國道局で行はる

鴨綠江および圖們江架橋に關する日滿兩國の覺書調印式は十日午後三時三十分國道局會議室において擧行され、日本側代表として朝鮮總督府政務總監大野綠一郎、在間島總領事川村博、在安東領事桝谷秀夫の三氏、滿洲國側代表民政部大臣呂榮寰、財政部大臣孫其昌、國道局長直木倫太郎、朝鮮總督府相川外事課長、福島事務官、大使館山本、結城、佐久間各書記官、高橋朝鮮課長、關東軍交通監督部田代技師並びに國道局坂田第一技術處長、同本間第二技術處長、同小原庶務科長、外交部梅谷文書科長、同伊藤亞細亞科長、財政部永井關税科長、交通部井戸川水運科長等列席のうちに右覺書に對して署名調印を了し終つて一同シャンパンの杯を擧げ、滿鮮交通經濟の緊密化を祝福しこゝに覺書の調印式を終つた、(寫眞は向つて右側より直木國道局長、呂民政部大臣、孫財政部大臣、向つて左側より桝谷安東領事、川村總領事、大野政務總監)

"日滿不可分强化" 大野政務總監語る

鮮滿間の境界は七九六キロの鴨綠江と五六八キロの圖們江の二大長江をもつて界せられてゐるのでありますが、この間の交通路は諸般の關係よりして朝鮮始政廿六年の今日に至るまで僅かに鴨綠江々口に近き鐵道橋と圖們江における圖們および會寧橋の三橋梁であつて河川の長大なる割に日滿兩國の文化および產業開發などの見地よりみて公道橋あまりに尠い狀態であつたのであります、しかるに隣邦滿洲國との關係は密接不可分となりその間に橫たはる萬般の事柄は鮮滿相依の精神の下に律して行くことを要求せらるゝやうになり、この緊密なる諸關係の具現化はその國境を流るゝ二大河川の上に更に多くの交通路を開設しもつて兩者間に圓滑なる文物の流通促進をはかることを第一義と致します、日滿兩當事者は思をこゝに致し數年來鋭意研究調査を進め來りまして遂にこの度日滿兩國關係當事者間に國境河川架橋に關する覺書を妥結することゝなつたのであります、しかしてこの覺書妥結の結果朝鮮側は鴨綠江に四橋、圖們江に二橋、滿洲國側は鴨綠江に四橋、圖們江に四橋、都合十四の橋梁を向ふ七年間に架設完了することゝなり、その完成の曉には鮮滿間における萬般の事柄は一層緊密の度を加へ日滿一體不可分の關係は更に飛躍的の効果を收むることを確信致しまして本日この覺書の妥結を滯なく了したことは兩國の爲め慶賀に耐えない次第であります

王英部隊、突如 烏蘭花山西軍を猛擊

【張家口十日發國通】草地の潜水艦王英部隊はこゝ數日來全く消息を絕つてゐたが、八日突如烏蘭花の戰線に現はれ山西軍主力部隊に向つて猛擊を加へた、現在烏蘭花の山西軍兵力は一萬數千、極めて大がゝりな陣地を構築して防禦に當つてゐるが、勇猛果敢な王英軍のことゝて烏蘭花方面の戰線は大變化をまき起すであらうとみられてゐる

皇帝は御結婚遂行 首相下院で報告

【ロンドン九日發國通】ボールドウィン首相は九日午後七時半下院首相室に緊急閣議を召集、午後八時半まで前後一時間にわたり重要協議をとげたが、席上ボールドウィン首相は皇帝があくまでシンプソン夫人と御結婚の決意なる旨報告したと傳へられる

ヨーク公殿下 御即位か

【ロンドン九日發國通】エドワード八世陛下の御退位は今や既定の事實と一般に確信されてゐるが、御退位の場合には皇位繼承の順序に基き第一皇弟ヨーク公殿下が御即位になり、ジョージ六世の御稱號を名乘られるとみられてゐる

各黨領袖より 所屬議員に禁足令

【ロンドン九日發國通】保守黨はじめ各黨領袖は九日夜所屬議員に「十日皇帝の御決意につきボールドウィン首相から重大發表ある豫定につき、ロンドン市外における約束を取消すよう」要請した

人事往來

▲木村淸松氏(大阪天滿キリスト敎會牧師)十日來京ヤマトホテル
▲土屋繁男氏(會社員)同
▲竹內俊六氏(同)同
▲相良三介氏(同)同
▲古澤幸吉氏(新聞社長)同
▲松本一郎氏(貿易商)同中央ホテル
▲山木英之助氏(滿鐵)同
▲大中信夫氏(同)同
▲牧野勝美氏(官吏)同
▲秋川一二氏(延吉金融組合理事)同

航空往來

▲森松軍三郎氏(開魯縣公署)十日開魯から
▲淺野良三氏(會社員)同
▲湊直次郎氏(同)大連へ

偶語

最近某ホールに起つたダンサー對雇主の對立問題は表面解決したかに見へるが問題はそう簡單に片付きそうにない▼一ヶ月三千圓も殘してゐるといふホールがダンサーに對する待遇はどうかと云へば全くもつてお話にならぬ冷遇である▼不衛生的なホールに出るだけでも相當の待遇をなすべきであるのに人間が生る上に最も必要なる食物の制限迄されては單なる雇傭關係をはなれて人道上由々しき問題である▼今にして雇主の反省なくんば重大なる結果を生ずるに至るであらう▼之はアメリカの話であるが一晩に數哩のステップを踏むといふアメリカのダンサーは時計型のステップ計量器を御につけて▼一定の哩數を超過したダンサーには營業主から特に賞與を出すといふ妙案を考へてゐる▼自由民權のやかましいアメリカでなくとも今に滿洲あたりでもそうなるに違ひない▼滿洲の奧地で〇〇の金をしぼりとつたやうな調子に考へてゐると今にホールに閑古鳥が飛ぶやうになることは明らかだ▼滿洲保健展十一日から一週間中央通り關東局保健所內で開かれる▼滿洲に居住してゐるものには滿洲に即した保健衛生が必要日日の幸を希ふものは何を措いても是非參觀することだ

社說 滿洲國の新財政策 厚生、企業に積極的方針

一

滿洲國の建國以來今日に至るまでの財政政策の基調はいはゆる健全財政政策であつたそれには國民の負擔を增加せしめないことと赤字公債又は借入金を避けることが二大方針とされて來たのであつて、建國匆々の際には公債財源も計上されたがその後減少し、その使途も概ね生產方面に向けられて赤字公債の性質を有してゐない。殊に公債財源額以上の剩餘金が大同二年から は翌年度財源として繰越計上されて居り實質上無公債豫算であつて文字通り健全財政と稱され得るものであつた。紊亂してゐた幣制を統一し通貨の統一とその信用を維持せしむるのに重點が置かれた建設第一期の財政經濟政策として健全財政方針の確立維持は當然の必要であつた。ところで今やそれらの事業はひと通り完了しこゝに第二期の建設工作に移る必要に迫られ、財政政策もこれに順應する變革を見やうとしてゐる。

二

新財政政策の前提として考へらるべき諸事情を見やう。國際情勢の緊迫によつて有事の際に處するための彈力性ある準戰體制を必要としてゐるといふことはこの國の場合にも第一に考へらるべきであらう。次に滿洲國の經營がいはゆる經濟國家、經營國家としての統制主義的な運用のもとに置かれてゐるといふことである。この國家觀から、滿洲國の財政は滿洲國經營の一面として全體の經營と關聯せねばならぬことが必要となる。斯かる前提から、國民の經濟生活を安定向上せしめるべき開發に關しても、國營企業又は統制企業の經營又は助成についても積極的な經營といふことが基調とされることが見透し出來る。他面中央と地方との財政を一體化すること、國稅收入の伸張を期し租稅體系を整備すること、金融政策について生產活動を促進するやうに內外資本を動員出來るやう機構の整備統制を圖ることが努められるであらう。

三

滿洲國が新たに採らうとする新財政政策はこれを大觀して理論的には合理的な財政政策と稱することが出來るであらう。ただその合理的な財政政策も愈よ實施となれば滿洲國の經濟並びに社會の實狀からする種々の制約を受けねばならぬのである。即ち新財政政策は厚生場面に於いて、また企業財政に於いて積極的態度を採らうとするものであるが、これには公債の增發を必要とし、公債の增發にはその消化力の問題と元利子拂財源の調達の問題が伴ふ。この點で日本への依存性が見出され日本からの助成が重要視されることとなる。

アルコール及び燒酎の專賣制度要綱 明年度より實施

【東京國通】大藏省では九日省議を開き政府の燃料國策に順應して明年度より實施すべきアルコールならびに燒酎の專賣制度につき協議の結果、左の如くその要綱を決定した

一、專賣制度施行區域 內地

一、專賣の目的物 アルコール專賣制度要綱

專賣の目的物は現行アルコールおよびアルコール含有飮料稅法上のアルコールおよび現行酒造稅法上の燒酎とす

一、專賣の所管廳 大藏省專賣局をしてこれを掌らしむ

一、事業の會計 專賣局作業會計中に抱含せしむ

一、アルコールの製造 アルコールの製造權は政府に專屬す、しかして揮發油混入用のアルコールは政府工場においてこれを製造するも、その他のアルコールは現在の製造者に對しその製造を特許するものとす

一、製造數量および種類許可 アルコール製造者は毎年その年度內に製造すべきアルコールの種類、アルコール分の度數、數量および製造方法について豫め政府の許可を受くるものとす

一、アルコールの輸移入 アルコールの輸入および移入は政府または政府の命を受けたるものにあらざればこれをなすことを得ず 臺灣および南洋より移入するアルコールは政府において生產者より直接購買するものとす

改めて對西絶對不干涉を 英、佛より提言

【ロンドン九日發國通】スペイン內亂は政府革命兩軍の血なまぐさい抗爭にもかゝはらず早やほとんど膠着狀態に入つたが、英佛兩國政府は種々協議の結果、もはや事態を傍觀出來ぬとの結論に到達し、獨、伊、葡ならびにソ聯の四ケ國政府に對し絶對不干涉を提言すると同時に、人民投票によりスペイン國今後の政體を決定することを提唱するに決定した、提言要旨次の通り

一、獨、伊、葡ならびにソヴイエト各國政府はスペイン內亂につき直接にも間接にも援助介入せざること

一、みぎ援助中止をまつて政府軍、革命軍間に居中調停して休戰をはかり人民投票に附してスペイン國今後の政體を決定する

スペイン拳鬪選手 上海へ諭旨送還

【東京國通】スペイン人の拳鬪選手レデメイオス(リングネームはキッド・ウイリー)君(三〇)は昭和六年六月日本拳鬪クラブに招かれて上海から來朝、ライト級の名ボクサーとして鳴らしたものだが二年前ヘツト・パンチの痛手が原因となつて腦神經に障害を來しリンクから引退、地方巡業の拳鬪團のマネキンをしてゐたが最近ではそれも失職するまでに落ちぶれたので、警視廳外事課では同人の父母の住む上海へ諭旨送還することゝなり、九日午前十一時橫濱出帆の六甲丸で出發した

新聞紙統制法案 佛下院通過

【パリ八日發國通】フランス下院は八日新聞紙統制法案を審議した、結果三百五十八票對百九十三票で同案を可決し直ちに上院に廻附したが、この案の內容は一切の新聞は事務取締役がその發行の責任を負ふもので、發行責任者は新聞所載の記事については政府の指定乃至は訂正を特に紙上に發表しなくてはならない、政府は外國新聞の輸入ならびに國內新聞の輸出を禁止する權限を有し、又國家の各要關に對する名譽毀損を嚴重取締る等が含まれてゐる

重光駐ソ大使 十日リ外相と初會見 日ソ國交全体に關し協議

【東京國通】重光駐ソ大使は本國政府の訓令に基きソ聯側と打合せの結果、いよいよ十日リトヴイノフ外相と就任後最初の會見を行ふことゝなつた、右の席上においてソ聯側の日ソ漁業條約調印遷延の不當なる理由を質すことは勿論であるが、從來大使が信任狀の捧呈をなした後の相手國外相との初會談においては當該國間の全面的國交調整につき意見の交換をなすのが慣例となつてゐるのでこの場合においても重光大使はまづ一般的外交關係から漸次當面の懸案におよび、左の如く帝國政府の所信を開陳するものとなられ現下の國際情勢に鑑み初會談から相當の緊張を示すものとして重視される、すなはち

重光大使は

帝國政府はソヴイエト政府との親善關係の維持增進を衷心から切望するものである

これがためには懸案解決を最捷徑と確信しかつ最善の努力を盡してゐる次第である

しかるにソ聯においては依然として極東に大軍を集中せしめ、國境紛爭の因を作りつゝあるのは甚だ遺憾である旨を述べ、日獨防共協定に藉口して日本を誣ふるの見當外れを指摘し、恫喝宣傳をもつて日本を威壓し得るとの誤れる對日認識の是正を要望し

一、日ソ漁業條約調印の督促

一、スパイの嫌疑をもつて檢擧されたる在浦鹽商船組社員中嘉一郎氏の速かなる釋放

一、國境紛爭處理ならびに國境劃定兩委員會設置交涉促進

一、極東にある大軍の撤退等についてわが方針を述べるはずで就中日ソ漁業條約に關して種々の誤解があればこれが一掃に努め、なほ理不盡なる態度あればわが强硬決意を傳へるものとみられてゐる

防共協定成立 國民的式典

【東京國通】歷史的なドイツとの握手日獨防共協定の成立を祝ふため盛大な國民的式典を催すべく、遠山滿翁、一條實孝公、井上清純男、菊池武夫男等各方面の人々により準備が進められてゐたが、來る十二日午後日比谷公園廣場において大祝會を催し、戸山學校軍樂隊の君ケ代奏樂にはじまり、牛塚東京市長、ディルクセン獨逸大使等の挨拶、廣田首相、有田外相等の祝辭などあり、ついで遠山翁の發聲でヒトラー總統萬歳、ドイツ大使の發聲によつて天皇陛下萬歳を三唱、終つて參會者は二重橋前櫻田門を經て永田町のドイツ大使館まで提灯行列大行進を行ふことになつた

オリムピツクに備へ 國內外への通信、放送 遞信省で準備に着手

【東京國通】東京オリムピツク大會に備へて大會の際國の內外への通信、放送などの重要役割を受持つ遞信省では工務、電務兩局が中心になり放送協會、日本無線などの外廓團體とも連絡して準備委員會を近く組織して四年後に備へることになつた、事業の中心は競技場內の關係設備、國內外への通信放送寫眞電送、テレヴイジョン放送などで寫眞電送は既に本夏ベルリン大會でドイツとの試驗濟であり、イギリスとは現在行はれてゐるテストが好成績を收めてゐる、明春にはアメリカとの間に試驗を行ふ豫定である、問題はテレヴイジョンだが海外放送は實現困難とは言へ國內での放送は既に成算がある

ソ聯、空陸海軍備の大擴張計畫樹立

【ロンドン八日發國通】デイリー・エキスプレス紙ワルソー特派員の報道によれば、ソヴイエト政府は空陸海三軍にわたる未曾有の大軍備擴張計畫を樹立、既に國防委員會の承認を受けたといはれる、右計畫內容は左の如くである

一、東西國境に長大な要塞を構築する

一、現在の陸軍兵力を二年以內に二百萬に增加する

一、空軍兵力を二年內に三倍に增加し、年々養成すべき飛行士の數を五萬に增加する

一、國防人民委員ウオロシロフ元帥のもとに軍需工業人民委員部を新設、軍需品の補給に遺憾なからしめる

一、外敵の空襲を受け易い地方にある軍需工場を國內に移轉する

滿洲興銀に 低資融通 四千五百萬圓

【東京國通】大藏省では今回新設された滿洲興業銀行にその事業資金として預金部低利資金を融通することゝなり滿洲國政府と打合せ中であつたが、その金額は四千五百萬圓と決定した、なほ現在の預金部資金運用規則では外國銀行に對し直接融資が許されてゐないので滿洲國政府が四分利國債を發行してこれを預金部が購入し滿洲國政府より同行に融通する形式をとるはずである

國債發行は その後に

滿洲興業銀行の運行の運用資金については、將來債券を發行する以外さし當り大藏省預金部より四千五百萬圓を借入れることになり、大藏省、財政部間に折衝中だつたが別電の如く內定、來年一月預金部委員會を開いて正式決定の筈で、從つて滿洲國政府國債發行はその後になる模樣である

關西四信託も 中間配當を改正

【大阪國通】四大信託(三井、三菱、住友、安田)から十二年度金錢信託中間配當率を長期三分八厘、短期三分六厘に決定の報告をうけた關西側四信託(大阪、關西、共同、鴻ノ池)では九日該問題につき協議した結果二本建採用決定の際の主旨により四大信託に協調して十二月一日に遡つて長期三分八厘、短期三分六厘とすることになつた

滿洲國律師法 (上)

律師法即ち滿洲國の辯護士法は去る十一月三十日國務院會議に於て可決十日勅裁を經て公布されるが右は律師の資格義務、特權等に關し一定の規定を設け其の質の向上を計ると共に一般公衆の利益を擁護し律師をして其の職務の公共性に違反することなからしむる一方又律師自身の社會的地位の確保向上を期せんとするものである

第一章 律師の職責

第一條 律師は當事者其の他關係人の委囑又は官署の選任に因り訴訟に關する行爲其他一般の法律事務を行ふことを職務とす

第二條 律師は正當の理由あるに非ざれば法令に依り官署の命じたる事務の處理を拒むことを得ず

第三條 律師は報酬ある公職を兼ぬることを得ず但し官署より特に命ぜられ又は囑託せられたる職務を行ふは此の限に在らず

第四條 律師は所轄地方檢察廳長の許可を受くるに非ざれば營業を爲し營業者の使用人と爲り又は營利法人の職員若は業務執行社員と爲ることを得ず

前項の場合に於て所轄地方檢察廳長二人以上あるときは其の直近上級監督官の許可を受くることを要す

第五條 律師は律師會に加入するに非ざれば其の職務を行ふことを得ず

第六條 律師は常に品位を保持し誠實に其の職務を執行すべし

第七條 律師は司法權の公正なる運用を翼贊し其の威信を毀傷せざることに努むべし

第八條 律師は故意に訴訟の進行を延滯せしめ並に眞實を枉して理由なき主張を支持することを得ず

第九條 律師は職務上知得たる秘密を故なく漏洩することを得ず

第十條 律師は係爭の權利を讓受くることを得ず

第十一條 律師は左記事件に付其の職務を行ふことを得ず

一 相手方の委囑を受諾したる事件

二 相手方より協議を受け其の機微に通ずるに至りたる事件

三 曾て公務員として處理したる事件

四 曾て中裁手續又は調解手續に於て仲裁人又は調解人として處理したる事件

第十二條 律師事件の委囑を承諾せざるときは遲滯なく之を委囑者に通知すべし通知を怠りたるときは之が爲生じたる損害を賠償する責に任ず

第十三條 律師は委囑者の請求ありたるときは何時にても受託事務處理の狀況並に之に關する收支の計算を報告すべし

第十四條 律師は法令の定むる費用及報酬の外故なく金品を徵求することを得ず

第十五條 律師事務所を設置廢止又は移轉したるときは遲滯なく之を所轄地方檢察廳長及所屬律師會に稟報すべし

第十六條 律師は所屬律師會の會則を遵守すべし

第十七條 律師の費用及報酬に關する事項は司法部大臣之を定む

第十八條 律師の懲戒に關する事項は勅令を以て之を定む

第二章 律師の資格

第十九條 帝國內に住所を有し滿二十歲以上にして左記各號の一に該當する者は律師となる資格を有す

一 律師考試又は司法考試に及格したるもの

二 司法部法學校を畢業したる者

三 裁判官又は檢察官たりし者

四 二年以上軍法官たりし者

五 教授又は助教授として二年以上司法部法學校に於て法律學の講授を擔任したる者

律師考試に關する事項は勅令を以て之を定む

第二十條 外國に於て律師と爲り得べき資格を有する者は律師銓衡委員會の議を經て司法部大臣の認許したるときに限り律師と爲る資格を有す

司法部大臣必要ありと認むるときに律師銓衡委員會の議を經て前項の認許を取消すことを得

第二十一條 左記各號の一に該當する者は律師と爲る資格を有せず

一 徒刑上の刑に處せられたる者

二 破產の宣告を受け未だ復權せざる者

三 懲戒の處分に因り免官せられたる者

四 禁治產者

外國に於て前項各號の一に相當する處分又は宣告を受けたる者亦前項に同じ

第二十二條 懲戒の處分に因り免官せられ又は律師の資格を奪せられたる者と雖も律師銓衡委員會の議を經て司法部大臣認許したるときは前條の規定に拘らず律師と爲る資格を有す外國に於て懲戒の處分に因り免官せられ又は律師の資格を奪せられたる者亦同じ

第二十三條 律師銓衡委員會は司法部大臣の監督に屬し委員五人を以て之を組織す委員は裁判官、檢察官及司法部高等官の中より司法部大臣之を命ず律師銓衡委員會に關する事項は司法部大臣之を定む

商況欄(十二月十日後場)

海外經濟電報

●上海標金 前引 二三三、[illegible]

◎上海爲替

日本向	第一回 買 賣	一〇四〇〇
	第二回 買 賣	一〇四二五
倫敦向	第一回 買 賣	一志二片一三二分七
	第二回 買 賣	一六分九
紐育向	第一回 買 賣	二九弗四分三
	第二回 買 賣	一六分三

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆沙新	[illegible]	[illegible]
錢新	—	—
東鐵新	[illegible]	[illegible]
滿洲新	[illegible]	[illegible]
二滿新	[illegible]	[illegible]
日鹽新	[illegible]	[illegible]

奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	—
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	—
日產新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
豆新	[illegible]	—
同新	[illegible]	—
電甲	[illegible]	—
東拓	[illegible]	—
滿興	—	—
滿毛	[illegible]	—
俊先	[illegible]	—
石魯	[illegible]	—

手形交換高(十日)

金票 [illegible]
國幣 [illegible]

新京取引市況

現物(十二月十日後場)(一石値段)

品目	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	[illegible]	—	二車
小豆	—	—	—
吉豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—

定期(混合百斤値段)

限月	寄	引	出來高
大豆 十二月限	[illegible]	[illegible]	二〇車
一月限	[illegible]	[illegible]	二車
高粱 十二月限	—	—	—
一月限	[illegible]	—	一車
二月限	—	—	—
三月限	—	—	—

移民適地は豫定よりはるかに少い

精々二百萬町程度、土地價格も上騰

大量移民計畫に一支障

大量移民計畫の本格化に備ふべく滿洲國その他各關係當局では相協力して十六組の大調査隊を組織し十月初旬より全北滿にわたつて各省別に詳細なる移民適地探査の現地調査を實施しつゝあつたが漸く一段落となつたものゝごとく仄聞するところによれば北滿各省における移民適地面積は豫定の一千萬町歩よりも遙かに少く大體豫定面積の八割內外に止るのではないかとみられるに至つた、すなはち濱江省內における豫定面積は大體二百五十萬町であつたが調査の結果は精々二百萬町程度で豫定面積の全部を得やうとする場合はどうしても一割內外の既耕地を含む土地を選ぶのほかなき狀態となつたもののごとく龍江省、三江省等についても大體同樣の結果をみるものと豫想されるに至つたがこの結果拓務省移民入植に兎も角

自由移民入植地

としてはどうしてもある程度の既耕地買收を含まざるを得ない事情となつたもののごとく關係當局がこの點をどう解決するかは移民適地獲得上相當の重大影響あるものとして一般の注目をひくに致つたなほ注目すべきは最近農村景氣の恢復の氣配が濃化してきたため農民の土地利用熱擡頭しその結果土地價格が既耕地未耕地ともに一般に上騰氣配を示しはじめたことでこの點も移民適地獲得上の一支障とみられてゐる

滿鐵社員會幹事會 來る十二日開催

【大連國通】滿鐵社員會第四回幹事會は來る十二日午前九時より社員會館大集會室において開催、本社聯合會提出の退職社員との連絡に關する件、社員およびその子弟を滿洲に營榮せしむる具體方法研究の件、ほか六議案を審議することゝなつた

全鮮十一月中手形交換高

【京城支局】全鮮手形交換所十一月中手形交換高は二十六萬七千二百七十二枚一億五千七萬六千餘圓で前月中より八百八十五枚五百六十四萬二千餘圓を各增加し前年同期より六千八百四十七枚を增加したるも金額は百三十萬六千圓を減少した、各交換所別左の如し(單位圓)

地名	枚數	金額
京城	一三九、三三一	九一、六六八、三〇〇
仁川	一一、五五三	八、三九八、五四九
釜山	四〇、五二七	一九、六〇九、八〇八
平壤	三四、三六八	一三、二七六、〇一五
元山	一三、〇九七	四、〇〇六、三三四
大邱	一〇、九〇七	三、五四八、八九一
木浦	五、九三四	六、四五一、三〇八
群山	八、一一〇	四、〇四〇、〇三七
鎭南浦	四、四五五	三、五三六、九一四

日露役裏面史を飾る 花大人(ホアターレン)の活躍

"われわれは義に感じて動いた"

滿洲義軍參加者座談會

日露役當時、日本軍の別動隊として露國の後方を攪亂、わが方の戰鬪を頗る有利に導いた花田中佐(滿人間には花大人と尊稱されてゐる)の率ゐる滿洲義軍の功績は日露役裏面史を飾るものとしてあまりにも有名である

滿洲國軍の討伐狀況視察のため通化に立寄つた記者は、縣公署森山參事官の好意で義軍の壯擧にはせ加つた往年の勇士達の座談會を催すことが出來た

集る 者は通化縣城居住者十五名で、このうちには現通化商務會長戰慶吉氏はじめ商人あり六十九才の袁慶三氏を頭に、老人とはいへ、何れも元氣な猛者揃ひで往年の勇猛振りがしのばれる、今ではそれぞれ鄕黨の重鎭として花大人の敎へを守つて日滿親善に多大の貢獻を行つてゐる

記者 先づ貴方達が義軍に投じた動機から聞かせて下さい

袁慶三氏 自分達が花大人を知つたのは光緒三十年でした、寬甸縣威廠に花大人が義軍を編成しこの軍隊が軍紀も嚴正で百姓を決していじめないといふことを聞いてゐた所ある日通化に使が來て、義軍に入れと言つて來たので、われわれが仲間を迎れて義軍に投じたのです

記者 ロ軍は何年頃こゝに入つて來ましたか

戰慶吉氏 花大人が滿洲義軍を組織する前年だから光緒廿九年だと思ひます、通化はロ軍の糧食貯藏地ともいふところで、郊外に大量の糧秣を蓄え、その守備に相當の兵力が居た、通化に入つてからは無辜な百姓をいじめる、人殺しはする、あらゆる暴行をしたのでこの邊一帶の住民は頗る困つたのです、又ロ軍は住民の不良分子を糾合して別動隊を組織したが、これが非常に暴れ廻つたので良民の疲弊は實にひどかつた その時我々の耳に入つたのが花大人の義軍の壯擧で、良民の敵ロシアを征伐するといふので吾々はその義に感じて參加したので別に金が欲しくて參加したのではない、皆もそうだつたらうと思ひます

一同 さうだ、さうだ

記者 義軍の給料は幾許だつたですか

戰氏 義軍は月十三圓から十七圓まで ゝしたが、これに反してロ軍側の別動隊は月四、五十圓はくれた これをみても吾々が正義に動いたのであつて金が欲しくて義軍に入つたのではないことがお判りでせう、兎に角吾々はロ軍が非常に憎くかつた

記者 花大人を長い間日本人だと思つてゐなかつたと聞いてゐますが?

王振東氏 私は最初から日本人だと思つてゐた

戰氏 私は日本人でないと思つてゐた、花大人は大滿人で少さい時から日本に行つてゐたゝめ滿洲語がうまいのだと思つた

記者 義軍が通化に入つたのは何年でした

戰氏 花大人の指揮する部隊が通化に入つたのは光緒卅一年三月で兵數は百名位でした、この邊の住民はわれわれが通化にゐたロ軍を討つて入城したのをみてどうしてこんな弱そうな滿人の臨時に編成した軍隊があの大きなロシア人と鬪つて勝つたのか非常に不思議に思つてゐた

記者 義軍が通化に入つて眞先きに何をしましたか

戰氏 前に話をした樣に通化附近が國軍の糧秣倉庫があつたのですがロ軍は退却に際してこれに火を放つて逃げた、そこに花大人の義軍が乘り込んで來たのだがまづ燃えてゐる糧秣を消してこれを貧乏な百姓共に皆分配した、ところがこの糧秣が多くて全部を分けるのに一ケ月以上もかゝつた、が一般住民のその時の喜びは非常なものだつた

石慶隆氏 兎に角そのころのロ軍が良民をいぢめたのが實に言語に絕するものがあつたのでそれに比べて義軍を神樣の樣に思つて喜んだ

記者 ロ軍は何人位ゐたのですか

戰氏 縣城には六十人位しか守備隊がゐなかつたが縣城を中心に三千人はゐたでせう、ロ兵が町を橫行するのをみて獸の樣に思ひ女子供は決して戶外に出なかつた

記者 花大人がそんな善政を敷いたので住民は隨分尊敬したでせうね

袁氏 ロシア兵は恐ろしがつてゐたが花大人には皆なついて行つた、といふのは顏も體の大きさも皆自分達と同じだし花大人が子供を可愛がつたからで義軍加入者だけでなしに一般の人達も非常に花大人を慕つた

記者 義軍が大勝を博した理由は

戰氏 それは義軍が百姓を可愛がつたから百姓がどんどんロ軍の情報を持つて來る その情報によつて寡兵ではあるが時を移さず行動し夜襲をやつたり急襲をして大勝利を得たのだ

記者 皆さんが三十年ぶりで花大人と再會された時は嬉しかつたでせうね

戰氏 一昨年守備隊の沖田大尉が通化に來られて花大人を知つてゐる者はないかといふことから當時のものを集めて話をきくと、鹿兒島で元氣に暮してゐられるといふ話で一同は頗る喜んだ その後私は機會を得て日本視察に行くことが出來たので鹿兒島にお寄りして三十年振りで溫顏に接したわけです、その時是非一度通化に來て昔の部下にあつて貰ひたいとお願ひしてそれから二度も來て載き、義軍參加者で花田會を作つて時々會合してゐる次第です

最後 に二名の老人が席の中央に出て一人が指揮者となつて

氣ヲ付ケー　右向ケー右　左向ケー左　廻レ右　前ヘー進メ　捧ゲー銃

等三十年前花大人に敎へられた號令をまだ忘れずに、はつきりした日本語で記者に聞かせて呉れた(文責在高橋記者)

新義州飛行場

整備竣工面目一新す

【京城支局】總督府遞信局では新義州飛行場の使命の重大なるに鑑み十一年度之が整備工事を施行することになり本年八月起工、十二月三日工事全般の竣功を見たが場內低地には盛土をなし排水設備も完成し國際飛行場としての面目を一新した

大豆出盛る

一日一萬瓩を突破

本年度の大豆出廻りは履報のごとく結氷時期の遲延と農民の賣惜しにより例年より約一ケ月近く遲れたものとみられてゐたが、最近にいたり各地とも完全に結氷したるに加へ、相場の大暴騰に刺戟され各地とも出廻り活潑となり、大手筋調査によれば昨八日の各鐵道沿線出廻り量は次表のごとく約一萬キロトンを突破する實情でいよいよ本格的出盛り期に入つたものと一般にみられるに至つた(單位=キロトン積馬車一台)

線別	出廻台數
京濱線	二、一〇〇
濱綏線	一、〇五〇
齊北線	二、五〇〇
拉濱線	七〇〇
濱洲線	一、〇四〇
濱北線	三、〇五〇
圖佳線	七五〇
林密線	
計	一一、一九〇

內鮮滿貨物直通運賃會議 事務的打合今日から

【京城支局】內鮮貨物直通運賃會議は十一日から三日間、鐵道局第一會議室で省局社の各關係者によりて開催に決定したが同會議は曩に奉天、京城、東京の三回に亘り行はれた協議事項の事務的打合である

商業生百貨店實習座談會(一)

街頭に躍り出て得た貴重なる体驗

痛感される明朗サーヴィス

理論と實踐の合一を計る劃期的な試みとして多大の收穫を得た新京商業五年生八十四名の輸入百貨店に於ける實習は一般市中商店にとつてもその體驗談を聞く事は時節柄好參考たるは疑ひない、以下はその座談會の貴重な速記である

日時　十二月七日午後一時
場所　新京商業學校實踐教室
出席者(學校側)赤塚校長、原島教務主任、松浦教諭、高橋教諭、五年生八十四名
(百貨店側)田村代表、稻垣支配人、その他在京新聞社

赤塚校長 諸君等は去る十二月二日より五日まで四日間輸入百貨店で實習をしたがその節種々と感じたり考へた事があつたらう。それより先に今回の實習で、お忙しい處をわざわざ我々商業生の爲にお骨折になつた輸入百貨店の方々へ一同を代表致しまして厚く御禮申上ます。その上今日は歲末でお忙しい中を且大層寒いにも拘らずわざわざお出下さつて感想發表の座談會まで開いて下さつて、實社會に活躍しておられる方々の御言話を拜聽し、且生徒諸君の率直な感想意見を聞いて見るのは大變有意義な事だと思ひます。以上をもつて開會の辭と致します。では輸入百貨店經營主の田村さんに一言生徒にお話し願ひたいと思ひます

田村氏(百貨店側) 生徒諸君が四日間に亘り、窮屈な店內でいとも熱心に實習して下さつた事は感謝に耐へません 又學校の先生方に於ても嚴寒にも拘はらず終始生徒を監督して下さつて十分に實習の效果を擧げ得た事を感謝致します 目下の處輸入百貨店と云つてももほんの名ばかりであつて誠に恐縮の至りであります 本日は玆に感想發表の座談會を開いて、輸入百貨店の爲に諸君等の感想意見を忌憚なく發表して下さつて、此の百貨店をして今後益々改良研究に依り發達せしめたいと存じます。どうか御遠慮なく、おつしやつて頂きたい

原島教諭 私が今日の座談會の進行係を仰付かりました。で私が大略の問題を提供して、指名しますから、その人が自分の感想なり意見なりを話して頂きます、先づ最初に私達は輸入百貨店なるものについて、はつきりとした認識がありませんので輸入組合理事の久末さんに御說明願ふ樣に思つて居ましたが生憎未だお見えになつてゐませんので經營主の田村さんに百貨店の組織概略についてお話し願ひます

▲**田村氏** 百貨店の營業方針と致しましては、第一が良品廉賣第二がサーヴィス即ち顧客に誠心誠意親切を以て當ると云ふ事と、第三が同じ樣な事でありますが顧客の便宜を計る樣に努めると云ふ事です ところが何分御覽の通り店員の中には不馴れな者もあり、彼此と不行屆の點も多々ありますが一日、十五日に主としてサーヴィスに對する店員の講習がありますので段々と向上して行くのだらうと確信して居ります。此の機會を御緣として、今後どうぞよろしく御後援の程お願ひ致します。

▲**原島教諭** 輸入組合と輸入百貨店とが同一である樣に思はれますが如何なる風になつて居るのですか。

▲**田村氏** ただ私の名儀で輸入組合から店舖を借りて、それに輸入組合員が商品を出して百貨店なるものを構成して居る譯です。それにたゞ便宜上理事の監督の下に行動をしてゐます。

高橋配屬將校 三階のホテルの事について、種々と新聞で八釜しかつたですがあれは結局どう云ふ風になつたのですか

▲**田村氏** あれは輸入組合經營と云ふ風にせず、支配人田村の個人名義で經營すると云ふ風になつて居ます

▲**原島教諭** 百貨店は通常小賣店と異り、現代的であり、小賣店より優れた點が多々あると思ひますがその點について意見を述べて貰ひませう

▲**高橋配屬將校** 私は全然素人であるから百貨店が小賣店より優れた點なんと云ふ事はわからないがまあこんな事を云つたら、その意味が含んでゐるかも知れませんから、百貨店へは、實習中に輸入百貨店に行つたのが始めてゞした。百貨店の賣子は通常非常に明朗でにこにこしてゐるがそれが生徒にも傳染したのか(笑聲)さも愉快そうに、にこにこしてやつてゐた。私は前金澤に居つたが、彼地には三越の支店と大丸とがあつたが、そのサーヴィスが大分違つて居た。即ち大丸は非常に店員の訓練が行屆いて、朗らかで顧客の應待が大變よいのに引較べて三越は店員が何か知らんしぶい顏を終始して居て官僚的な百貨店の感があつたが、自分矢張り大丸の方が氣持がよいので大丸ばかり行つて居た、自分ばかりそう思つたのではないやうで一般の人々もそう感じたのか知らんが、結局三越はとうとう引上げてしまつた。又新京の小賣店のサーヴィスは、あまりよくけない樣に感じる、これは私個人の所感であるが、他人もあまり大差はないだらう

▲**原島教諭** では泉三郎君實習の所感を述べて見給へ

泉三郎 私は洋品部に居りましたが二日間の實習で感じた事が、二つあります。その一つは洋品類やシャツを買はれた時、一々帳面に記入して行つて居ますが人が澤山居る場合は書く人が、大變忙しく且手間取るから、各部で個人個人書いて見たらいゝと思ひました。もう一つは、一日中店內に籠つて居ては、健康によくないから、一時間でも戶外へ出て運動することにしたらよいと思ひました

▲**原島教諭** 學生が實社會を體驗する爲に街頭へ躍り出して實際に商品を手に取つてお客に應待し販賣した今回の實習に對して新京の市民がどんなに感じて居つたか一つお聞きしたいと思ひます。新聞社の方。どうかお願ひ致します

▲**國通記者** 私は未だ町や一般の人々に聞いて廻つて居りませんが併し私自身の感じと致しましては大變よい企だと思ひました。遲かれ早かれどうせ卒業したらば、事務室に行く人も有るだらうし又店へは入つて店員やら店主になる人も居るでせうが、學生中のこの二日間の實習は後になつて、よい思ひ出になるだらうと思ひます。近年此の種の實地敎育が大分盛んになつて、內地でも年末の大賣出し等に雇はれて各商店に行つて居る樣です。處が、そんなに迄しなくてもよいではないか、わざわざ街頭に立たんでも、學生は、たゞ學校に籠つて、勉强してゐればよいと云ふ樣な人もある、併し現代では實習するのは大變有意義であると云ふ人が多い樣であるし、私としましても双手を擧げて贊成致します

▲**高橋配屬將校** では、一寸私の考へを述べて見ませう。私は前農學校へ行つて居たが農學校の生徒は自作の大根を賣りに街頭へ進出して販賣してゐるが、まして商業學校の生徒に於ては勉强ばかりせなくても、實際に街頭へ出て品物を賣ると云ふ事は大變よい事だと思ふ。私も心から大贊成する

▲**原島教諭** ところが私もそう感じ又生徒も歸つて來てから話してゐますが、輸入百貨店へは、餘りお客がは入つて來ないと云ふ樣ですが、それについて支配人の稻垣さん、一つお話し願ひます。

稻垣支配人 大體商店は月の始めは暇です。又年末には大變忙しく、人々は年末にまた買はねばならぬと云ふ、樣な考へがあつたのでせうし、その上、丁度大變寒くて、戶外へ出る人が非常に少なかつたからだと思ひます。通常お客は土曜日の午後から翌日に亘つて多いのです。決して何時でも暇な譯ではありません。あの頃は丁度暇な時分でしたまああれでも商業生の實習がなかつたらもつと尠なかつたんだらうと考へてゐます(笑聲)

▲**赤塚校長** いや柔道初段とか二段とか云ふ樣な大きな男がごろごろしてゐるので恐らく恐れを爲してお客が近寄らなかつたのでせう(笑聲)

家庭

扁桃腺病は 全身性傳染病の焦點
病的扁桃腺の摘出が最も安全

扁桃腺は全身性傳染病の感染經路の關門であるといふことは約二十年前からアメリカの耳鼻専門家によつて唱道せられて居ります。

それは、この病的扁桃腺に對して盛んに全摘出術が行はれて居りますが、その結果リウマチス、腎臓炎、心臓炎、[illegible]

諸疾患の豫防

[illegible]

氣候の變り目

[illegible]などに一人の兒童が感冒にかゝる、これが學校で他の兒童に感染、更にその家庭一般に感染してせきに苦しむ様なことがあります。この様の扁桃腺は恐ろしいものではありますが、病的扁桃腺の全摘出を行ふ時はその病狀は實に速やかによく消散、あるひは輕快するものであります、唯同じ摘出術を行ふにも最も思慮深く忠實にその

適應症を選定

するといふことが最大要件であるから、これは各自の信用してゐる醫師の注意深い意見をきいてからせよと申し上げるものであります。

[illegible]起されて居ることは認めます これに依つて考へても扁桃腺[illegible]

樂しいクリスマスに お家庭の晩餐
△…とても美味しいお献立

献立(五人前)
一、クレア・スープ
二、フイッシュ・フリッター、トマトソース
三、ローストチキン、芽キャベツ、サヤ隱元
四、林檎と胡桃のサラダ
五、クリスマス・プルデング

一、材料=[illegible]の骨髓小匙二杯、足の骨は二つに折り、くだい[illegible]て大鍋に入れかぶる程の水を入れて四時間、とろ火で煮ます、途中で鹽を加へ、絶えず浮き上る泡をすくひ取ります 暖めた深皿に入れ胡椒を一ふりします。

二、材料=魚の切身、玉子一、牛乳三勺、メリケン粉五勺、味つけしたトマトソース、パセリ、魚は鯛、鱈何でもよろしい。メリケン粉をふるつて鉢に入れ玉子の黄味、牛乳を加へてざつとまぜ、甘味を泡立てゝ輕くまぜ合せころもをつくります、フライパンに油を熟して魚にころもつけ狐色になるまで揚げます、トマトソースをかけ、きざみパセリをかけて出します。

三、材料=雛鳥一羽、バタ大匙一杯。
七面鳥の代りに若い鷄をつかひませう。鳥をきれいにこしらへ、バタを千切つて所々にのせ強火の天火に入れて焙燒します。十分間たつたら時々ひつくり返して出た汁を肉をすくつてかけ、三四十分燒きます。芽キャベツ、サヤ隱元は青く鹽ゆでゝ、大皿にチキンを丸ごとのせ、まはりに野菜をおきます。テーブルの上でわけて頂きます。

四、材料=林檎二、くるみの實一合、マイナインース大匙三杯、サラダの葉。
林檎はしんを去り細かく切りくるみもきざんでおきます。鹽水にさらしたサラダの葉をざつと酢で洗ひ皿、並べにマイナイソースでこさへた林檎とクルミをもります。

五、材料=メリケン粉カップで一杯、ソーダ小匙二分の一、鹽小匙四分の一、砂糖カップ三分の二(但し赤砂糖と白砂糖とを半々にして)牛の脂(ヘタ)極く細くしてカップ半分、乾葡萄カップ半分、おろした馬鈴薯カップ四分の三、おろした人參カップ半分、ニッケ小匙一杯
右の中乾いたものだけを先に混ぜおき、それより野菜のおろしたものを入れて攪きまぜます。ブリキ罐の内側にバタをぬり、これを流し込み蒸し器に入れて一時間十五分蒸します。あついうちにソースをかけて供します。

今日の話題

△徳川光圀が淫祠邪教の取潰しを命じましたのが、「桃源遺事」に寛文五年の十二月十一日と見えてをります。
△東京隅田河口石川島の地名の起り……三角州を石川八左衛門が三代將軍徳川家光より領地として與へられましたのが寛永二年の同じ日でした
△西郷吉之助が五卿動座の談判に長州へ乘込みましたのは元治元年のこの日です
△今日が誕生日に當る人に國學者北村季吟(寛永元年)ドイツの細菌學者ロバート・コッホ(西暦一八四三年)があります。

ラヂオ けふの番組 十一日(金曜日) (M・T・O・Y 新京放送局)

朝
六、五〇 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 氣象通報 入港船のお知らせ(大連)
七、四〇 朝の音樂(大連)
八、三〇 經濟市況(東京)
八、四〇 建國體操
九、四〇 經濟市況(大連・新京)
一〇、〇〇 家庭講座(奉天) 冬期オリムピックと氷上滿洲(二) 木谷辰巳
一〇、二〇 料理獻立(大連)
一〇、三〇 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況(大連)
一〇、四九 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、四〇 ニュース

晝
一一、〇〇 經濟市況(東京・新京)
〇、〇一 經濟市況(大連・新京)
〇、二〇 晝の演藝(レコード)
二、五〇 經濟市況(大連・新京)
三、〇〇 ニュース(東京)
三、三〇 經濟市況(東京・新京)
四、二〇 ニュース・演藝(大連・新京)(鮮語)
五、〇〇 子供の時間(東京) 合唱 向ふのお家・外九曲 JOAK唱歌隊 伴奏 東京サロンオーケストラ
五、二〇 コドモの新聞(東京) 關屋五十二
五、二五 講演(東京) 泥棒除けの心得 警視廳警部 吉岡一行
五、五五 カレントトピックス(東京)
六、〇〇 ニュース(東京)ニュース・告知事項・番組豫告

夜
六、三〇 講演(大阪)(新京) 南米に於ける我國移民の現狀 田崎愼治
七、〇〇 獨唱と二重唱(大阪) マリオ・ロイヨ 北澤サカエ ピアノ伴奏 エフゲン・クレイン
一、ソプラノ獨唱 (イ)歌劇「アイーダ」より第一幕勝ちて歸れ ヴエルデイ作曲 (ロ)沙漠にて グレチヤニノフ作曲
二、テナー獨唱 (イ)歌劇「マノンレスコオ」より第一幕のアリア プッチーニ作曲 (ロ)悲歌 マスネー作曲
三、二重唱 歌劇「トスカ」より第三幕「愛の二重唱」プッチーニ作曲
七、二五 常磐津(東京) 願糸縁苧環 浄瑠璃 常磐津千東勢太夫 同 常磐津照尾太夫 三味線 常磐津八百八 上調子 常磐津國兵衛
七、五〇 浪花節(東京) 赤城の子守唄 秩父重剛作 春日井梅鶯
八、三〇 時報・ニュース(東京)ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
九、〇〇 義太夫(哈爾濱) 忠臣藏四段目(判官切腹の段) 浄瑠璃 出原港 三味線 豐澤力三郎
九、三〇 ニュース再放送
一〇、〇〇 北滿の時間(哈爾濱)

浪花節 "赤城の子守唄" 春日井梅鶯さんがやる

後七・五〇 東京より

お上に追はれる身となつた親分の國定忠治に、十手を預る勘助を叔父に持つ板割の淺太郎は二心ありと疑はれた爲、勘助を訪れて譯を話し、涙ながらに首を貰ひ、勘助の一子勘太郎を背負つて赤城山に戻つて來た、背中で家へ歸らうと泣く勘太郎に子守唄を唄つてなだめ、頑是ない時から手鹽にかけて育てられた養ひ親の勘助の恩義には何もむくひる事がなく、然もこの手で斬るとは、ふつ／＼渡世仁義がいやになつたと胸をえぐられるの思ひである。忠治の前に出た淺太郎は、これで自分の二心無かつた事がお判りでせう。叔父は義理も人情も知らない男ぢやあござんせん、と首を差出し、今日限り親分乾兒の盃を水にしてやつて下さいと、キッパリ申出る。忠治は自分の一代の失敗だつたと悄然と、淺太郎に詫び、今山を下ることは思ひ止つてくれその代りきつと子供の勘太郎は勘助の遺言通りこの自分が命に賭けても堅氣に育てると誓ふ赤城の子守唄の一席。

常磐津 願糸縁苧環

後七・二五 東京
浄瑠璃 常磐津千東勢太夫
同 常磐津照尾太夫
三味線 常磐津八百八
上調子 常磐津國兵衛

「言初て心かはらば中々に契らぬ先で戀すてふかはるまいその睦言に誰が水させし憂思ひ「つつめど薫橘姫佛かくす薄衣は薄い縁かと氣にかゝる其戀人を道もせの心も心ならの里「求馬様か「コレ「ヤア戀人か何故に爰迄後を追鳥はもしやねぐらの契りをも叶へてやろとのお心かと胸にはいへど詞にはおもはゆげ成草の露誓しとこそは休らひぬ「こゝ迄は來れ共館の手前何とやらそなたは是より早ふ館へかへつて下され橘姫殿「ソリヤお胴慾でござりまするばい「姫は思ひにたへ兼て館を出し其日より君故ならば露ときは花と散なん我命おしからぬとは思へ共、とけぬあなたのお心は、あんまり結ぶの神さんを祈過した咎めかと、恨みつ泣いつもつれよる姿やさしき姫蔦の放れがたなき風情なり「お三輪は後におくれさき花野に蝶のせかれ行姿愛らしかあゆゆらし「うれしき中にくりこともいとし／＼をおだまきに「たへぬ思ひを亂れ合露おく野べをうかうかと「道もせ氣もせ心さへおのが羽風におどさるゝ雀の森か宮が辻尋さまよひ來りける「ヤアもとめ様こゝにお出でなさんしたかサアわたしと一所に三輪の里へ「イエイエそふはならぬサア求馬様みづからと御いつしよにお出でなされませいなア「取手もゆらぐ胸の火の、お三輪は中をおしへだて「エ聞へませぬもとめさまそりや氣のおゝい「悪性なそもやわたしが初戀は思はで三輪のすぎし夜に、葉ごしの月の俤はお公家さんやら侍さんやらしれぬなりふりすつきりと水ぎはのたつよい殿御「外の女子は禁制としめてかためしゑんむすび「主あるとのごを大たんなことはりなしにほれるとはどんな本にもありやせまいへ女ていきんしつけ方「よふ見やしやんせエゝたしらみなされ女中さん「イヤそもじ迚たらちねのゆるせし中でもないからは戀は仕がちよわがとのご「イヤわたしがイヤわしがと「こなたへ引ばあなたがとゞめ互ひに顔も朱奪ふこれも戀路のならひかや「戀のしがらみ蔦かづら、ゑんのおだまきいとしさにあたるおみわがりんきの針男の裾に付る共しらずしるしの糸すじを、したひ慕て尋行く

煤煙防止座談會 ③
先づ病院、學校、驛から 千坪以上の家屋にストーカーを附けよ

座長 有難うございました それでは續いて外の方にお願ひするのも何でございますし委員會幹事の方の青山さんから技術者から見た現在の煙煤狀況に就て御說明願ふことと致しませうか

青山 そうですね、技術者と申しましても僕は本職でないですからね—。

座長 貴方の御承知の事丈で

青山 實は近藤さんの所で今度の委員會の打合會に於て自動車に乘つてぐるつと新京を一と廻り廻つて見たのですが皆さんの御覽になつてゐる點も吾々の見て居る點も大方同じだらうと思ひますが一番眼についたのは—此處に滿鐵の病院長が居られますが滿鐵病院の煙であります。夫れから此處に市立病院の院長も居られますが市立病院の煙であります。偖てどつちが多いかと思つて二人で比べて見たのでありますが大方どつちも大關で、どつちか分らない。之は衛生の本家本元の病院がこれでは不可ん。先づあれをやつつけやうではないか、いや、これは高等政策だらう、うんと煤煙を吐いて病人を作つて病院で以て患者を多くする(笑聲)政策をやらうと云ふ、これは技術者が言ふのではありませんが、其の他商業學校、停車場、郵便局等もありましたが、兎も角も今近藤さんのお話のやうに、家庭の上から吐く煙りが非常に多いのでありまして、方々の都市のを計りましたが家庭から吐く煙のパーセンテージが工場から吐く煙より實際多いのであります。併し乍ら皆さんのお考へになつて居る通り、家庭の焚方とか施設の改善といふものは既に出來上つて居るものは困難であります。此の方面を吾々どうしたら好いかと集つては話をして居ります先づ難しい方を直ぐさまやるといふことは謂ふ可くして實行は出來ないのでありまして先づ兩病院、學校、停車場等最も目立つ最も多量の煙を吐くところのパーセンテージは都市に對して少しでも、一本の煙突から吐く量の多い所からやつつけやうと云ふ、斯う云ふスモークハンターを出したのであります。それで展覽會の會場で、私立病院の現狀は市長の責任にあると思つて先づ市長にこれ幸に詭辯を弄しまして、あーいふ煙を何とかしてと言ひますとその家の……實は此處に居られますが營繕需品局の河瀨君が實は設計したのだそうですが、これはけしからんではないかと言ふたら、とんでもない、けしからんのは俺ではない、造る金を呉れないのだ。豫算は十六圓を十三圓であるとか吾々の所の住宅でも大抵施設費が二十六圓から卅圓でありますが病院のやうな溫度を取る所が十六圓なんてことはないと思ひます。それで結局二萬圓足らなかつたといふ話であります。そう致しますと、今現在の石炭使用量が一年二八噸—と申しましたネ—一日八噸—それを計算致しますと—二萬圓の改善費を加へますと—石炭の節約が先づ—一寸横道に入りますが—ストーカーが—日本語で云ふと自働送炭裝置と云ひますか—河瀨氏の計畫では罐を三罐備へて全部にストーカーを附けると云ふ計畫だつたのであります。ところが金を出す方の喧しい親爺共が文句を言ひましてネ何と云つても呉れないから三罐の罐を二罐にしたのであります、がストーカーは全然ないのです(笑聲)—之は技術者として金を出す方の掌櫃に文句を言ひますが技術者としては出來なかつたのであります。

河瀨 一寸青山さん、將來やる計畫を樹てたが出來なかつたのであります

青山 あゝさうですか將來やる計畫だつたのださうです 何とかしてあの煙を無くしなければならいと仰言つて居ました滿鐵病院の方はあれは全く段々病院が繁昌して來るので煙を出す、隨つてそれに伴つてボイラーの數を殖さなければならないのですがそれは却々地下室の改造は地上の仕事よりは臆劫なものですからやらなかつたのであります。技術者としては同情して居りますが結果としては極めて惡いのであります。其改善も極めて簡單に金さへあれば出來るのだと云ふ話も聞き又私もさう信じて居ります、是非共さう云ふ豫算關係をせられる方々は技術者方面の進言を成る可く素直にお聽き下さいまして都市衛生問題、其爲に三割の粉炭を新京都市にばら撒いて居るのでありますから二萬圓かけても三年かかれば取戻し其後は經濟も好いのでありますから甚だ失禮な言を吐きましたが之は一日も早く害毒の多い煤煙都市のヲ々から絶滅させたいと云ふ、市民としての希望でありますから

植田 一寸一言市の當局として申上げます 實は病院が出來上つて彼處を見に行つてストーカーが附いて居ない事に就て僕自身が非常に驚いたのであります、それは普通の者でも煖房に對して僕等が滿鐵に居つて相當斯ふ云ふものであつたと云ふやうな根本的に—根本から—例へば病院とかホテルであるとか云ふものに對して大體建築の比較なんかを決めて將來斯ふ云ふ大きい聚合のキャパシテイーが何れ位のボイラーを使ふかと云ふ、それ位の事は斯ふ云ふ額で出來る事ではないか、—それから又一般市民なんかに對してももう實にストーブなんか亂立の姿であります、尠くとも斯ふ云ふものを推奨すると云つたやうな場合、ペチカならペチカの構造なんかに就ても技術屋としてはさう云ふその金額なんか瞭かにさしてやらせるやうにして戴き度いと思ひます、實は非常に私の方も申譯ないのですが見ると非常に煙が出る、それで聞くとストーカーを附けて居ないと云ふ、何うして附けないかと云ふ、—斯ふ云ふ樣な話なのです、實はさう云ふ内輪の話をしてはいけないのですが僕は技術の人を態々よんで、何うして計算したのか、そんな話ではないが、と云ふたのですが之は非常に迂濶な話で河瀨君も造り上げて顧問にしたやうた形で忙しい中を一寸見て貰つたのではないかと思ひます、之は官のものとは違つて、滿鐵がやるやうな譯には行かないので來年は早速附けやうと云ふのであります

青山 其行處で行けば好いのです(笑聲)

植田 實際僕等は考へ居ります、六、七年ではない十年位前に佐藤さん等と相談して構造案なんか決めたのです—耐火構造—其の時なんかから勞資を尠くすると云ふ事は考へたのです具體的にも考へ私は委員會に對して希望としては尠くとも最少限度の基本金額防止法案なんかの出る事を予想して滿鐵の方と話を致しまして皆さんの技術屋の中から勿論吾々も寄つて尠く共斯ふ云ふ程度のキャパスティーは之位のボイラーとか一つ金額を決めて戴いてですね、それだけは何うしてもどんな建物を設計する場合でも謂へる、さう云ふ最少限度のものをやると云ふやうな事にして戴き度いと思ひます それでさう云ふ事が相當私は大事なのではないかと思ひます、さう云ふ空氣を此方の方で釀成して今度の委員會の結果に基いて各官廳其他の方面に要求して好いのではないかと思ひます

近藤 ストーカーの話でありますが建設局管内の筋違ひのものでありますが建坪の坪數千坪以上の家屋には必ずストーカーを附けなければいかんと云ふやうになつて居ります、之を千にするのが好いか或は八百が好いか、或は六百が好いかは問題ではありませんが兎に角委員會にお諮りまして、まあ千位にしたらと云ふので千にしたのでありまらか之は早速にも市と滿鐵附屬地の方と相呼應して戴いて何坪以上の建物にはストーカーを附ける、附けなければいかんと云ふ事を監督條項の中にお入れ下さるならば問題が解決する譯でありますがさう云ふ譯に簡單に行きませんでせうか?何うでせうか?

新刊紹介

富士(新年號)

◇五二二頁、三大附録、懸賞つき、量から見ても驚くべき大冊ものである、これも内容的に檢討するなら、まつたくどこから採算の根據を見出すか、一寸首を捻らずには居れないものがある。
◇附録の一、「映書芝居大寫眞帖」を手に取つて、まづ驚嘆させられたのは、度々出るものではあるが、そのたびよくもかう内容が一新されるものだといふことである、これは、劇映畫界の日進月歩の勢にもよることであらうが、頁々に表はれた寫眞の豪華さ編輯の巧緻さにも感服させられる。恐らく、映畫ファン、芝居ファンには、十二年度劈頭の好伴侶を與へくれた喜びに湧き立つであらう。
◇附録の二、「落語全集」寫眞のキャビネ判位の大きさだが、三二〇頁の手頃なもの、初春のお笑ひ草でもあらうが、ラヂオの落語放送などに意外なよき解説者の役目を果すかも知れない
◇附録の三「面百番附所見表」は讀んで字の如しであるが、内容の新しいところ、思ひつきなところに、この附録の値打がフンダンに盛られてゐる。
◇一轉して本誌となると、これまた新作ものゝオリンピックよろしく、「女人哀歌」中村武羅夫「合羽屋お六」川口松太郎「變り種」村上浪六「まぼろしの女」横溝正史の連載陣「跳躍する裸女」竹田敏彦「闇の骰子」保篠龍緒「新年宴會の夜」益田甫「雪の中の燈」北村小松「兄弟首二千兩」子母澤寛「剃刀一」旅一土師清二「秋晴れ正丸峠」平山蘆江其他の讀切陣及び講談落語の新作特輯寫眞、漫畫、漫文

學藝

春籠秋籠

馬胡冬

山口青邨君が第二の隨筆集を出した。題して「春籠秋籠」といふ。裝幀は全部龍星閣の主人に委せた。私の心持をよくわかつて居て呉れるので安心して任せた。そしてこんな氣持の良い本が出來た。と青邨君自身がその跋文の中に書いて居る樣に、ほれ〴〵とする樣な本である。表紙は黑のカンバスに淡茶色の齒朶の葉を散らし、背に銀文字で春籠秋籠山口青邨著とある。扉は布目紙に青疊で大小五つの蝶を押した。奥付の印紙さへ、黃色の塵紙に双龍を綠青で印刷し、その間に青邨の雅印が押してあるといふ凝りやうである。青邨君がいつの間にかほどの凝り屋になつたかとうたがはれる程の凝りやうである。

山口博士といふより、このごろは山口青邨と言つた方が通りが良い。虛子について十四五年、俳句の方面に於てもさることながら、寫生文に於ては獨自の境を開いて一家をなして來た。科學で練つた頭と、俳句で鍛へた筆と、さういふ常人の及びがたい武器を以て、自分の周圍を見、記錄して來た文章である。惡からう筈はない。

山口君は高等學校で自分と机を列べて居た。その頃の自分はかなり軟派不良であつたと今になつて考へる。谷崎潤一郎に傾倒したり、オスカーワイルドを讀みふけつたり、ボードレールが讀み度いと正課にもない佛蘭西語に腰を入れたり、學課をなまけ、學校を輕蔑して居る間に、同君は專心野球に力を注いだりして極めて健全な學生であつた、同君は盛岡の產であり、盛岡中學の出であつた。啄木におくる、事二三年であつたらう、いつか同君の下宿で啄木の中學時代の新體詩を見せて貰ひ花の樣に美しいそれが、當時の針の樣な短歌と同一の作者かと面白く思つた事がある。

東京に移つてからは科が違つたので餘り多く交際しなかつた。學校を出てからも同樣である。或る日、銀座裏のカフエパウリスタでひよつこり會つた事がある。今考へれば同君が古川鑛業（？）を辭して大學の助教授となり、シベリヤを廻つて歸つて來た頃であつた樣だ。しばらくぶりの會見ではあつたが、お互に連れがあつたので深い話もせずに別れた、自分が關西に移つて益々疎遠になつた。八九年程以前、突然四頁程の小さい俳句雜誌を送つて來た。雜誌の名は何といつたか覺えて居ない。それに山口青邨といふ名で俳句に關する短いエッセイが載つて居た。自分はそれを山口君かどうかといふ點に半信半疑で居た。それからホトヽギスにぽつ〳〵青邨の名が見え、追々頭角をあらはして來た。或日俳句といふものが僕には無くてならないものになつて來た、と富士山か何かの繪端書に書いて、その後に

一本の萩に色々の小蟲かな　青邨

と書いて送つて來た。

大學の研究室で同君に會つたのは其の一、二年後であつた。その頃は、俳句に關する限り大家の氣位を持つて居ると言つたりして居た。「今日の俳句は科學の報告と同じであるべきだ。」と言つたりして居た。俳句は詩で無く科學の領域だといふ程の口吻であつた。絕對寫生をとなへて居た。彼の寫生文も勿論氏の俳句上の主張を文章の上に實現したものと見るべきである。彼は弊衣破帽、一介の村夫子然として研究室を出、一緒に大學の正門前をぶらついて別れた。

自分の同窓で俳人として活動して居るものが二人ある。一人は佐々木有風であり、一人は山口青邨である。有風は學生時代すでに碧梧桐の門人として、妙に扁とつくりのはなればなれになつた字を書いて居た。青邨は前に言つた樣なスポーツマンであつた。一人は實業家であり、一人は科學者である。一人はマドロスパイプを口から放たず、一人は朝日を袋ごとポケツトにしのぼせて居る。一人は噴水のほとりの薔薇の花を吟じ、一人は自分の庭園に雜草を植えて居る。一人は才氣煥發、一人は淡々として水の如くである。一昨年兩人が相前後して句集を出した。有風の牡蠣の宿と青邨の雜草園とである。

ばい天の城市の門の駱駝かな　有風

みちのくは藥屋ばかりや乙鳥　青邨

氏の全く違つた傾向の二人の俳人、會へば必ず惡口の言ひ合ひをして居る二人の俳人を自分は非常に敬愛して居る。

扨て、も一度春籠秋籠に返らねばならぬ。春籠秋籠の一文一文は、青邨を知つて居る自分にとつて好ましいものである。言々句々青邨が躍動して居る事を感ずる。例を言へば最初の「謠の稽古」である。「虛子先生」にすゝめられて無理に謠の稽古をして、百穗畫伯の描いた鐘板を背にした舞台に登つて、松本長先生の聽いて居るところで「七騎落」を謠ふといふのである。

あふひ小母さんがあんまり「謠へ謠へ」とすゝめるものだから「それでは僕は太鼓をやりませう」と言つた、さう言つたら當然斷られるものと思つての逃げ口上であつたのだ。處がそれがすつかり裏をかゝれてしまつて「それもいゝでせう」水竹居さんで笛をおやりになるから、あなたが太鼓、みんな一藝を持つといふことも面白いでせうよ」、まんまと小母さんに肩をすかされて、僕も默つて太鼓を打つことにした。だが事が愈よ重大になつて來たことを感じた。その次の週から丸ビルの廣い集會室へ行つて太鼓をたゝいた、謠の連中は室の一方にかたまつて、家鴨のやうな聲を出して謠つて居る。僕はあふひ小母さんもつて來て貸して下さつた太鼓を前にして撥を取り上げた。先づ撥の下し方と、撥の持ち方、太鼓の位置、太鼓の譜を口ずさみながら變な手つきでトン、トコ、トコトンと打つた。手が硬はばつて撥が太鼓の皮にうまくあたらない。稽古を休んで居る連中か珍らしいものだから側によつて來て見て居る。そして笑ふ。「うまい〳〵、鳴る〳〵」など、囃す、虛子先生やあふひ小母さんも「うまい〳〵、ものになる」と言はれる。「ほんとうかしら」と僕は腹の中で思つてゐる。僕といふものと、太鼓をたゝいてゐるのとは別のもの、やうな氣でそう思つてゐる。全く音痴である僕が金春流の太鼓をうつのだから大變だ。

「家へ歸つたら座布團を前に置いて、それを太鼓のつもりでお打ちなさい」と小母さんは譜と撥とを貸して下さつた。それから家で時々、座布團を前にしては、天テレツリ天テレツリ天。ヨーイイーヤハーア天天と叩いた。座布團がスト、スト、ストといふ音を立てるのがいかにもわびしくて、又、ばからしかつた。

自分はそのくだりを讀んで青邨君の眞面目くさつた風丰とストストといふ座布團の音とを連想して微笑を禁じ得なかつた。

自分は青邨君の第三、第四の隨筆集が出版されるのを樂しみに待つて居ると同時に、有風君の才はじけた文章が梓に上つてくれまいかと思つて居る。

官場現形記 (224)

李寶嘉作　大内隆雄譯

【第十八回の七】

劉中丞は彼とは交情があつたのである。この頁を聽きそれは大事な事と、許さざるを得なかつたが、しかし半年といふ期間は餘り長いので、三ケ月の暇を與へることにして言つたのだつた。

「今度の奏薦には胡道台一人を推したのだが、それは都合好く行くだらう、なほ次回には必らず君を推薦する手筈になつてゐるから、その點は安心してゐて欲しい」

周はそれに禮を言つて退き更に各上司同僚にも挨拶し、行李をまとめて小汽船に投じ先づ上海に向ふことにしたのであつた。

×　×

さて戴大理は、胡統領が省城に歸つたと聞くと早速公館に訪ねて行つた、顔を合せ、寒暄數句、胡統領は先づ彼が中間に立つて斡旋したことを謝した、又周の事を言ひ出して甚だ不滿の意を示した。戴大理はその言葉に調子を合せて又色々と彼の惡口を言ひ

「今度あいつを奏薦しなかつたのも、私がその細工をしたのですよ」

とも言つた

胡統領は

「奏薦どころか、普通の行賞となつても私は劉中丞にはつきり言つてあいつの名前を撤去してしまひたい」

と言つた、戴大理はそれを聽いて甚だ喜んだのであつた、

×　×

光陰箭に似、日月梭の如しとは全くである、周が去つてから程無くこの普通行賞の議が行はれることとなつた。胡統領は屢々中丞の前で周の惡口を言ひ、戴大理も內に在つて運動したのだつたが、中丞は嘗つて周と交情あり今回の辛苦に對して彼の名を撤することを肯ぜず、やはり推薦したのであつた、この推薦が都に屆くと部の方に廻して審議させることになるのだが、部の役人は直ちに各方面に手紙を飛ばして商賣を始めるのである、それは悉く官職の大小によつて、送金の多寡を定めるのであつて、錢が出れば推薦標準となり、錢が無ければ批駁だ。この手紙を往復しての取引で自づと時日を要するだから旨を奉じて既に三ケ月といふのに、部の返事はまだ出來ないのであつた。これは常情で怪しむに足らぬ

×　×

一年といふ月日も見る間に經過する、早くも五月の初旬となつた。

或る日、劉中丞が司道たちを引見してゐる所に、電報局から一通の電報を屆けて來た開いて見ると、福建省に不正事件あり、これが查辦のため二人の大官を隨員とともに派遣する、その一行が不日杭州を通るといふのであつた。

劉中丞はこの事をみなに話した。藩台がそれについて言つた。

「いま福建では何も問題になるやうな事はない筈ですがどうして又そんな使を出されるのでせう？」

□□出身の臬台がゐて、彼は考へ深くやがて言つた。

「これはひよつとしたら福建が目的で無いかも知れません從來事件の取調べに勅使を出される時は目的地が山東なら上諭には必らず山西と言つて油斷させたものです、そして勅使は山東まで行つてもうそれ以上は行かない。だから勅使の到着するのをじつと待つて居るわけには行かん、ぜひあらかじめ手紙で探ることです向ふに知人がゐればきつと知らせてくれますよ」

劉中丞が

「一體わが浙江省には問題にされるやうな事は無い筈だが—」

と言つたので、司道默はした

生活

松元衛門

すさみゆく生活の中に……

花火線香のやうな會議があつた

人々は大きい輪廓で……

自分々々の立場に燃えつゞけてゐた——

白い顔　どす黑い顔　生活に伸び切らうとする顔　顔　顔

その中でやさしい言葉を九官鳥のやうに　自由に吐き出した者だけが

もつとも生活に　うるほひをもつた　人たちだつた……

それらの人達の前ではテーブルまでも　頭を下げてゐた

小さい置時計は　會議の中で珍らしいものでも見る樣な恰好で

隅の方で　小きざみに息をしてゐた　（一一、一二、八）

新刊

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△力行世界（十二月號）永田稠氏の「滿洲移民に關する梅谷案」は注目さるべきものであらう、力行通信中に侍島福一氏「北滿の一角より」永井初氏「新京農園入り」がある（東京市板橋區小竹町、力行世界社、三十錢）

△日滿經濟論壇（一卷七號）「松井春生氏の經濟參謀本部論を批判す」と別に表として附けた五枚の日本資本主義經濟機構解剖圖表內容說明書を內容としてゐる、圖表は現行個人資本主義經濟機構、現行金融機構、現行產業機構、現行國家財政機構、革新國民資本主義經濟機構の六種（東京市澁谷區代々木初台町七一九、日滿經濟調查局五十錢）

△大亞細亞（十二月號）川島浪速氏「北支の情勢に流る、基本精神」權亢集「滿洲農村振興對策私案」笠木良明氏「往返途聞」高辻長吉「讀龍雜記」長谷川敏「牌長會議傍聽記」遠藤繁淸氏「健康愛護」松浦有志太郎「在滿同胞の衛生」等（東京市麴町區內山下町一ノ一、大亞細亞建設社、三十錢）

▲滿蒙知識（十二月號）末次虎太郎氏「中屋重教中尉の戰死を悼む」塚野俊藏氏「滿洲北支の商工業を觀る」水泉忠衛「保健衛生行政の確立へ急ぐ濱江省」青木虎若「信濃村移民團現地概況」中屋重業氏「肉彈挺進隊」等（東京市神田區三崎町二ノ三四、滿蒙知識社十五錢）

バス二號線の延長に俄然！反對運動起る

長慶街方面通勤者一丸となつて交通會社に覺醒促す

新京交通會社に對するサービス改善、運轉回數增加要望等に關し世上兎角の批難あるとき來る十七日より國務院新廳舍移轉に伴ふ驛、長慶街二號線の延長（財政部—國務院）により同會社の運轉料金改正發表は右二號線利用者たる長慶街方面居住者の間に一大刺戟を與へ、從來の批難鬱憤に點火して果然會社側に對し重大な團體的覺醒運動にまで擴大發展するに至り社會の注目を引くに至つた

〃由々しい生活問題〃 利用者の負擔は二倍となる

右二號線の延長、新改正料金によつて加重の負擔を受けるに至つた長慶街方面の電々社宅、政府代用官舍、電業、中銀社宅に於ける利用者はこれを機會に俄然蹶起し、電々社員を運動の中心とし、附近居住者を加へた約二百名は九日午後七時長慶街順天寮に集合『市民の公敵バス會社を膺懲せよ』の强力なスローガンの本に氣勢を擧げ電々會社某幹部を司會に各自の意見を纏めると共に第一段の具體的運動準備を決議するところあつた右覺醒運動の由存と其の目標は右二號線がその終點たる長慶街より更に國務院にまで延長され、財政部より國務院までを一區と算定された結果、その中間に存する長慶街の電々社員たる南廣場管理局員、大和分局員及び中央通り中央電報局員等は通勤に際し一區間五錢の追徵を負擔する上に右利用者の最も憤激を買つてゐる點はこの延長によつて從來驛より南廣場までの延長線が廢止となつたためこの間馬車を利用する五錢を算入すれば結局從來長慶街—康德會館を一區に、驛—南廣場を一區とする都合二區十錢のバス料金が改正後においては十割の負擔二十錢に加重され同樣中央通り電報局員は五割十五錢の負擔を餘儀なくされるものでこれを月に豫算すれば現在の六圓が一躍十二圓に、中央通りは六圓から九圓となり薄給現業者にとつては堪へられぬ負擔であると同時に由々しい生活問題であり、步行すれば僅か二、三分で往き得る財政部國務院間に一區間の設定は無暴無考慮もはなはだしいものだと叫んでゐる、更に純然たる營利會社でなく、一國策的使命を有する新京交通會社が赤字補塡のためこの微々たる路線延長を機會に經濟的に無力な一般大衆にこれを轉嫁する如きその意圖の奈邊にあるかゞ疑はれ、市民の交通機關であるべき會社が國務院の移動に追從して同線利用者の利益を無視して省みない點政府御用機關としての疑義を含むものであり、乘務員のサービス改善の余地はまだしも同社の營業方針の一大缺點と見られるのは通學生のバス料金で、內地における營利目的の交通會社（汽車を含む）ですら義務教育者はこれを全免中等學校にあつては軍人同樣半額又は二割引のサービスあるに拘はらず同社では小學生には一月二圓の定期券を甚だしいのは中等學校生徒に對しては一般大人同樣の料金を徵し、この延長によつてこれまた一般利用者同樣十割及至五割の負擔を加重される上これら學生を子弟に持つ父兄は、その利用者のほとんどが三十圓を最低とし五十、六十圓程度の俸給生活者であつて見ればその苦痛、生活脅威は想像に余りあると言ふにある、右負擔加重を數字的に揭げれば

△南廣場

	現在	改正後	差額
一日、	十錢	二十錢	十錢
一月、	六圓	十二圓	六圓

△中央通

	現在	改正後	差額
一日、	十錢	十五錢	五錢
一月、	六圓	九圓	三圓

となる

〃變更の理由薄弱〃 實行委員方針協議

右運動の會社に對する具體的要望及び追求點は結局

一、家庭婦女の買出し利用、市內商店の來往頻繁な二號線の料金改正即ち會社側態度はとりもなほさず直接間接に國都の發展に背反し、二號線のみ變更した理由薄弱

一、號線改正の期日を十七日よりと定めた爲に疑義があり殊に交通會社の公共性に鑑み事業對照たる利用者に對し

一、利害均等にすべきこと

一、既往の習慣及び事實を急激に改變せざること

一、改正は何の場合に於ても公共性を無視せざること

一、多少の犧牲はやむを得ざること

一、下層階級者の利益を可及的擁護すること、更に要求として改正實施に當り料金上何等かの便法を講じ居るやと大體一ヶ月料金三割引、三ヶ月五割引、六ヶ月七割引の定期券發行を促す模樣である

右會合に於て早くも十五名の實行委員を決定、運動準備を完了したので同委員は十日午後七時再び順天寮に會合、具體的運動方針を樹立の上十七日の改正料金實施を目前に控へて近く各關係方面に諒解具陳すると同時に交通會社に對し猛然たる覺醒運動に乘り出すことゝなつた、交通會社に對する批難攻擊の騷喧しい折柄、一切の憤懣を打つて一丸とする今回最初の團體運動は最も注目に値ひする

〃薄給者が多いから……〃 〃打開策を考慮〃 才津課長、橋口專務夫々語る

電々管理局才津總務課長は語る

各方面から善處方交涉がありますが我社には極端な薄給者が多く三圓若くは六圓のバス代を値上げされては食つて行けません特に通學子弟の多い向きでは三十圓からのバス代を拂ふことになるのは何とか善後策を講じてバス會社は勿論監督官廳方面にも嘆願し打開策を講じたいと種々計畫中である

右に關し交通會社專務橋口勇九郎氏は次の如く語つた

そうした問題が表面化したことは會社側の手落として遺憾に思つてゐますがガソリン一ガロンの値段が內地では五十錢、大連四十錢に比し當地では八十錢であり車輛にしても高率の輸入稅を賦課されそれに國都の擴大發展による新市街方面に線を强ひられる現狀から赤字續きであることは事實です改正料金の實施に關し一般利用者の多寡を問はず新路線から何等かの陳情又は苦言に接せば監督官廳とも充分折衝の上御希望に副ふ樣善處したいと考へてゐます

やつかいな居候 先輩、持て余して保護願ひ

岡山縣眞庭郡落合町大言無水藤田正雄は飄然と來滿したが早急に就職口とてなく同鄉中學の先輩奉天鐵路局勤務石川豐氏の添書を貰ひ來京し同中學の先輩竹井氏を訪れ新京に見物に來たと云ふので竹井氏は關東局殖產科にゐる先輩牧義一氏を紹介、市中を見物さしその夜は牧氏の宅に泊つたが翌日竹井氏方に來り所持金三、四圓しかないから父に電報を打つて金を取り寄せるからそれまで先づ宿を世話してくれと云ふので日本橋通り旭ホテルに頼んでやつたが三日まつても四日まつても電報の返事が來ないので不審に思ひ追及したところ實は金がないので電報をまだ打つてないとの答に竹井氏も同情電報料を貸すからと諭して別れた、然るに九日朝竹井氏宅を訪れた藤田は竹井氏の奧さんから一圓を借りて今日午後奉天に行つて來ると言ひ置いて歸つたことを竹井氏が午後四時頃になつて聞き愈よ不審と宿牧氏等を探したが見當らずこれはと思ひ驛にかけつけたところ一二等待合室にゐるので早速連れて來てよく調べて見ると懷に

「空想も理想も一朝の夢でした私が嘘つきのやうに人に思はれるのは、私しのすることが皆今一歩と云ふところで喰ひ違ひを出ずるからです、みなさんにすみません立派に死んでみせます云云」

と云ふ意味の親、先輩、知人等に宛た遺書を持つて居り自殺する虞れがあるので新京署に保護を依頼したが近頃こふ

今年は早目に出る 驛員のボーナス 十七日頃から全員にザツと五萬餘圓

九日奉天鐵道事務所で開かれた主要驛區長會議に出席し十日午後三時三十分着列車で歸任した稻川驛長は八百數十名の驛員が捕らぬ狸の皮算用で待たれてゐる年末賞與の話題を齎らした、滿鐵のうちで最も遲れて出る鐵道現業員のボーナスも今年は少し早目に出るらしく、新京驛に着くのが十五日、それを日給社員に渡されるのが十七、八日ころから遲くとも二十日までには出される模樣である、率からすれば月俸社員はそれより少々遲れる模樣である、率からすれば昨年と大差なく日給社員の雇員が平均四十日分、傭員が平均三十日分程度、事務員が平均二十五割位と見られてゐる八百八十名の驛員に手渡されるボーナスの總金額がざつと五萬二千餘圓、さて年末年始の虛禮、回禮廢止は高唱される鐵道從事員の家庭にころげ込んだこのボーナスがどこへ消費されるか、もらつたまゝを貯金通帳に仕舞ひ込みもすまい、年に一度のお正月にせめて子供の晴着一枚でも、最愛の家內にも下駄一足とそれぐ愉しい珠算はじいて惱まされてゐるだらう

時差廢止に伴ひ 銀行時間も改正か？ 商店界の金融關係にも影響

明年一月一日から實施される日滿時差の撤廢により銀行、會社の營業時間如何は一般市中商店から重大な關心が持たれてゐるが、最も關係深い在新京銀行團では奉天、ハルビンの各都市ともさきに決定をみた大連案の如く四月一日から十月末日まで午前九時開始午後三時終業、十一月一日から翌年三月末日まで午前十時開始、午後四時終業を採用するものとみられてゐる、然してこれを現在の營業時間に比較すると夏季に於ては一時間繰り上げとなり、冬季は實質的には現在通りと言ふことになるが、一般商店の銀行利用率は午前より午後の方が大である關係上、改正時間によれば十月一杯が實質的に午後二時に終業されるのは相當打擊を受けることゝなり、此の點につき商工會議所ではさる九日の議員會にて銀行側の考慮を求めるところあつた

した何等目的もなく金もない來滿者が非常に多く警察署に來るもの丈けでも夥しい數にのぼり係員も手古摺つてゐる

邦人貧困者數 三十家族、百十七名 きのふ附屬地の調査終る

歲末同情週間はいよく十五日から附屬地城內一齊に開催されるが、この週間に集つた同情の結晶である義金分配の根據をなすカード階級層の附屬地日本人の調査は十日午後終了したが、それによると概數二十二家族人員六十一名、貧困兒童八家族十六名、勞働保護會四十名合計三十家族百十七名で前年に比し家族數は十增へて人員は十一名の減となつてゐる、しかしてこれは概數でなほ相當數增加するものと見られる

滿洲保健展開く けふから一週間關東局保健所で 本社後援 貴重資料を山積

滿洲結核豫防協會、關東局保健所主催、本社後援『滿洲保健展覽會』は十一日午前九時から中央通り新京署隣り關東局保健所內で開催される、一年間苦心の結晶たる貴重なる摸型、圖譜約四百餘點は十日夜徹夜で飾付けを終つたが摸型の一つ圖譜の一枚にも素人が一見して直ちにその日から保健衛生の指針として應用出來るやう滿洲の實際に即して製作した苦心のあとが窺はれる、入場料は一切無料で場門にはそれぐ係員がゐて懇切叮嚀說明に當る等盡し滿洲としては空前の大規模の企てである、會期は一週間日滿人を問はず全市此の來觀を望んでゐる

留學生身元證明 新京署で取扱ふ

新京警察署では從來留學生の身元證明書は取扱つてゐなかつたが留學生が不便を感じてゐる向きもあるので關東局司政部長は十二月九日警察署長にこれが證明方を依賴して來たので新京署では附屬地內居住者滿人留學生に對し身元證明書を取扱ふことになつたから希望者は同署警務係に願出られ度いと

金融會理事會

康德三年度の金融會理事會は十一、十二の兩日、金融合作社聯合會の會議室で開催される、日程は左の如し

第一日（午前十時開會）

一、財政部大臣訓示

二、理財司長指示事項

三、理事長（高橋大使館朝鮮課長）挨拶

四、協議會

イ、法令及び通牒の說明

ロ、右に對する質疑應答

第二日（午前十時開會）

一、協議會

イ、法令及び通牒の說明

ロ、右に對する質疑應答

ハ、打合せ

防空協會打合會

滿洲防空協會では十一日から二日間軍人會館にて全滿各支部連絡打合會を開催する、議題は次の通りである

一、本年度事業報告

一、康德四年事業計畫

一、會計報告

一、現行規定改正の件

一、防毒被服取扱の件

行け、北山スキー場へ 參加團體募集 申込みはビューローまで

十三日（日曜日）の吉林北山スキー場開きには情報處小秋元隆邦氏、體育聯盟田中直茂氏等の權威者が應援に出かけ當日はヒュッテーの修祓、吉林スキー協會々長吉林市長の挨拶があり、續いて小秋元、田中兩氏の模範競技及び一般初心者のコーチをなし、スキー及び附屬品一切三十名分を準備して特に新京驛ビューロー主催、本社後援の新京團體參加者のため無料貸與し、ヒュッテーには湯茶の接待、シルコ、うどんなどの用意もして新京からの團體を大歡迎してゐる希望者は至急ビューロー及び驛まで申込れたい、なほ團體募集規定は左の通りである

一、期日十三日（日曜日がへり）新京發午前七時四十分新京歸着同日午後六時三十五分

一、人員　三十名限り

一、團費　三圓三十錢

なほ既に申込み者が十數名に達し非常な人氣を博してゐる

電業ラグビーの小川君入營

前京都帝大ラグビー部主將で「タンク」の異名をとつた現電業ラグビー部主將小川義晴君は今回幹部候補生として和歌山步兵第六十一聯隊に入營することになり十一日午後一時十分發列車で出發するがシーズンを前に同君の離京は國都ラグビー界に大きな痛手であらう

國策映畫研究會委員會開催

國策映畫研究會は十日午後一時から軍人會館にて委員會を開催した

郵政管理局座談會

新京郵政管理局では十日午後三時から軍人會館で座談會を開催した

都山流月例演奏會

都山流西田方山氏月例尺八演奏會は十一日午後六時から記念公會堂にて開催される

入江副社長歸京

入江電業副社長は齊々哈爾に赴きボイラー爆破の復舊作業に采配を振つてゐたが、豫定より一週間も早く八日から送電の開始をみたので十日「あじあ」で哈爾濱經由歸京、直ちに重役會を開いて經過を報告した

滿洲計器黒岩氏歸京

滿洲計器公司理事長黒岩直温氏は過般內地方面への新任挨拶と事務打合せを兼ね東京、京城方面に出張中であつたが十日午後五時廿分着あじあで歸京した

市商會顧問來社

實業部から新京特別市商會の顧問に就任した長谷川鎧氏は十日挨拶に來社した

豆タク開業挨拶

十日華々しく開業した國產タクシーの吉本滿重、高木正次藤崎元治氏等は小型タクシー十數輛をつらね各所を開業挨拶に歷訪、午後二時本社へ來訪した

師走りの街を彩るボーナスの噂さは支給日の迫るにつれてサラリーマンの心臟を動搖せしめてゐるが▼こゝ中銀の清水庶務課長は「中銀のボーナスは三十割どころか十割が標準だよ、三十割、三十五割なんて君等の想像だよ」と秘密主義を振り翳して頻りに人を煙りに卷く▼「それなら十割以上あつたら社會事業にでも寄附しますか？」と突込むと「いやそれは君ボーナスでなく手當なんだよ」と逃げる、中銀にはボーナス以外に年末手當と名付けるものがあるらしいが、この點一寸區別が判つきりしないことは夥しい、銀行家にも似合はぬ勘定科目ではある

妖魔往來（上映 劇上）

桃川燕二演　内山証太郎畫

一二七

悪黨の定市それをきいて、

「よし〳〵分つた、ぢや斯うしねえ、八丁堀へ船で行くといつてこゝから船を仕立ねえ、船頭は定が馴染だからあれをかして與れと云へば、順番に關はらずおれにお鉢が廻つて來る、船へさへのせればこつちの者だ、新川新堀を外にみて遠く品川沖の方へこぎ出してしまふ、恰度是からなら沖へでる頃夜になる、海の眞中に引出しておいて強談判ぐづ〳〵云へば、ドブリ沈めにかけると斯うおどしや命あつての物種、どんな事だつて思ひきらうぢやねえか」

「ウゥ成程なア、おれも後家の身に嫁る丈おどしつけやうとは思つて居たが、海の中は一層凄くて思ひきりも早くつかう、夫ぢや定さんたのむよ」、

「早く出かける支度をしねえ」

「よし」

久太郎は二階を上つていつた。

「人間は長生をしてえなア、いつ何時牡丹餅が棚から落ちて來ないとも限らない、へゝン久太郎の奴さん乘込みやあがつた、是からは一番おれの仕事にしにやならねん」と定市凄く笑つた。

久太郎は何くはぬ顏で元の座敷へ戻つて來た。

「久さん何をして居たのだね、大變長い便所ぢやないか、ぐづぐづして居れば日が暮て了ふよ」

「ナニ階下で鳥彦御築の船頭にあつたのだ、馴染の奴だから彼奴を頼んで船でゆかう、直に支度をしねえ」

「おやさうかえ、直にいつて與れる」、

ブリ〳〵して居たところだが急にニコ〳〵となつた。久太郎はポンポンと手をたゝいて女房をよび勘定を拂つた後

「女將すまねえが船を一艘仕立つて與んな船頭は定市を頼むぜ」

「オヤ、定の野郎をご存じのお客様ですか、あれは少し道樂者ですが、腕つ方へかけては確なものでございます畏まりました、直に定に支度をさせます」

まもなく支度が出來たと知らせる、久太郎は、お鉢の手をとつて船へうつらせた。

「大層グラ〳〵するね、目が廻りさうだよ、大丈夫かしら」

「船だものちつたアグラ付くさ我慢しねえ、ひつくりかへる氣遣へはねえからな」

此内に船はグーッと岸を離れる酒ずきの久太郎酒肴を持込ませて直に盃を手にとる。

「オイ〳〵船頭さん、手際もあるまいがチヨイト一つやらねえか、いゝ心持だ。急に世界が廣くなつてきたやうな氣がする」

「有難い、恰度折よくひき潮だから、舵をもつてせえ居りや一人出に船はもつてゆきやす、舵を見ながら一杯頂戴しやすかね」

艪の方へ腰を下して手拭取つた定市、今迄は船をだすのに氣を取られて居たが、此時お鉢をよくよくみると少し婚禮の氣味はございますがどうして仲々の別嬪

「ねえさんご免なさいやし、遠慮なく頂きますから」

「サア何うぞ」

お鉢も定市をみると船頭こそしてゐるがどこか小氣の利いた處がある者と思つて居たが、顏をみていくらか安心もできた、三人がよつて飲みながら船は潮につれて段々と海の方へもつてゆく、隅田川の縁へ來た頃には日はソロ〳〵暮掛つた永代橋ではトップリ暮て両岸の町家が燈火が、チラリホラリ御留の際のやうに見所々や電燈のない時代の燈のとぼやうな火がポツ〳〵あるばかり、折しも反對に風がドウト吹きまくつて來た。